

# 2020 年度

(令和 2 年度)

## 事業報告



社会福祉法人  
全国スモンの会

# 2020（令和2）年度事業報告 目次

## 社会福祉法人 全国スモンの会

1. はじめに 相良眞紀子理事長・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. 法人本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 補助金・助成金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
4. 法人職員体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

## 障害者支援施設 曙光園

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17  
    利用者の状況、事故・インシデント、苦情・ご意見
2. 生活支援部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
3. 相談支援部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
4. リハビリテーション健康部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
5. 調理部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
6. 事務部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
7. 防火・防災対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

## 曙光園 特定相談支援事業所

1. 曙光園 特定相談支援事業所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61

## グループホーム アゼリア

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
2. 防火・防災対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65

# 社会福祉法人 全国スモンの会

## 1. はじめに

社会福祉法人 全国スモンの会  
理事長 相良眞紀子

4月12日は、社会福祉法人 全国スモンの会の法人設立記念日です。2021年で、設立42周年となります。

当法人の初代会長、相良丰光が設立当初に掲げていた理念は「信頼と団結」でした。しかし、私が理事長に就任した直後の2008年から2013年頃までは、この「信頼と団結」が崩れそうになってしまっていました。この間には、たくさんの職員の出会いと別れがありました。当時から今日まで志を忘れることなく在籍している職員は、初代会長が唱えたこの「信頼と団結」の精神を、一貫して持ち続けてくれている人ばかりです。おかげで、その後現在に至るまで、私達は全国スモンの会の求める目標へ、ぶれることなく向かうことができています。この4月12日も、私は法人設立記念式典において各職員に対し、心からの感謝の意を述べさせていただきました。

2020年度の事業計画では、3つの大きな目標を掲げていました。その目標に向けての歩みを、一つずつ報告させていただきます。

### 1. 福祉サービスの中心的な担い手としての法人のガバナンスを高め、財務規律についても自律的、かつ透明性のある組織体制であること

ガバナンス、財務規律については、特に法人四役（=理事を兼務している4名の職員。統括施設長（常務理事）、事務局長、曙光園施設長、グループホームアゼリア施設長）の尽力があり、厚生労働省による健康経営優良法人2021「ブライト500」の認定を受けることができました。これからは福祉の分野も「経営」の視点が必要になるということを、私は理事長就任当初から言ってきましたが、労務・衛生管理、諸規程の整備など、組織の中で決しておろそかにしてはいけなかった部分を、もちろん今後も改善の余地はありますが、評価をいただけるまでに固めることができたのではないかと自負しております。

長い間導入を検討してきた人事考課制度についても、2020年度に試行的に導入することができました。考課者である役職者にとって、制度に習熟する機会

となった一年であったと思います。2021 年度においては、人事考課の結果を給与・賞与等に連動させ、本格的な人事考課を進めてまいります。

## 2. 社会福祉事業の充実・拡大と「地域における公益的な取り組み」により、地域に求められる福祉サービスに貢献していくこと。

2020 年、新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの住むこの世の中は一変してしまいました。社会福祉法人に求められる「地域における公益的な取り組み」をどう実践していくか、検討が求められる一年であったと思います。

グループホーム アゼリアにおいて、短期入所（ショートステイ）のサービスを切れ間なく地域のご家族の皆様提供していくことは、経営面での大きなプラスの要素です。定期的にアゼリアの短期入所を利用してくださっている方に、私たちは短期入所のサービスを用いて 1 ヶ月以上の中長期の滞在を提供し（「ミドルステイでのご利用」等と便宜上称しております）、ご家族の皆様安心していただいております。

この他にも、感染症の影響でご家族の皆様等との面会自粛をお願いせざるを得ない曙光園・アゼリアの利用者の皆様には、この 2020 年ににわかに注目されたリモートワークの技術を用い、遠隔地からの面会をしていただけるよう、環境整備を進めました。地域の方々との顔を合わせた交流を行える状況では正直ありませんでしたが、「With コロナ」の考え方が求められる 2021 年度へ向けて、今できる取り組みを行ってまいりました。

## 3. 福祉人材の確保・育成・定着に各セクションで尽力していくこと。

2020 年度に特筆すべきこととして、インターンシップ制度から採用に至った外国人職員 1 名が「特定技能 1 号」の在留資格を認められ、現在生活支援員としてフルタイムでの就業をしております。私どもの法人が福祉の業界にまた一つ貢献できたのではないかと自負しております。この在留資格が認められたのは、資格試験に合格することができた本人の努力もさることながら、各部署が連携し行ってきた支援体制の成果でもあり、改めて各職員の尽力に心から感謝しております。

また、「多様な働き方」実現の一環として導入している準正規職員・短時間正規職員制度は、現在合わせて 10 名の職員が利用しており、安定した就業継続と育児・介護などとの両立を提供することができています。

年度ごとに各職員が目標設定を行い、上長との年複数回の面談を通じてその振り返りと指導を受ける機会を持つ面談制度や、各職員が自ら「気づく」ことで

人間力の向上を目指すことができる研修である「木鶏会」も続けて実施しております。これらを通じて職員間のコミュニケーションが、私が理事長に就任した頃と比べ格段に向上していると実感しております。法人の組織力を向上させるために、私たちがお願いしていることを、各職員が手を抜くことなく実践してくれていることに感謝しております。

以前、入職直後のある職員にフロアで声をかけたら、その職員に「理事長さんに直接声をかけられた」とびっくりされたことがありました。前職は大きな法人だったのでしょうか、理事長が直接現場の職員に声をかけるような雰囲気ではなかったのだそうです。今後も、「当法人で働き続けてくださってありがとうございます」という謙虚な心が醸し出す職場の雰囲気を、大切にしていきたいと思えます。

「福祉・介護業界全体での人材不足」が問題であるとよく言われているようですが、当法人は福祉の「心の質」が高い人を少数精鋭で求めています。そのような心の質を高める育成をしていけば、人数は少なくてもそれぞれが普通の人の倍の質で仕事をしてくれると私は思っています。いま当法人の要職で尽力くださっている各職員一人ひとりの心の質は、とても高いものであると私は誇りに思い、心から感謝しております。今後も離職率の低下など、目に見える数字上の成果も目指し、組織の要である「人」を大切にしたい歩みを進めてまいります。

現在の当法人の上層部の方々は、私たちが「自主性をもって仕事をする職員」を育成する法人であることをよく承知してくださっています。今後ともさらに「信頼と団結」の志を持った、質の高い職員が育成されていくことを確信しています。私を含め全員が、法人設立者である初代会長の理念を忘れることなく、ぶれることなく、その心、精神を磨きつづけていかなければいけないのだと思えます。

## 2. 法人本部

法人本部 事務局長 安里 芳樹

### はじめに

2017年4月1日からの改正社会福祉法施行を契機に、財務規律の強化及び経営情報の開示、規程・文書管理の見直し、職務職位の見直し等に取り組み、法人のガバナンスを強化してきた。2020年1月末から、新型コロナウイルス感染症が拡大し、コロナ対策に追われたが、事業運営におけるガバナンスは崩れることなく、通常業務を問題なく遂行できたことは、これまでのガバナンスの強化の成果と考えている。

2020年2月に入ると直ぐに、法人独自の感染対策基準を設け、かなり早い段階から、ご利用者・ご家族に協力を仰ぎ、面接・外出・外泊等の制限をさせていただいた。厳しい局面で法人独自の取り組みができたことは、今般の社会福祉法人の統合・合併が推進される中、当法人のあり方への大きな視座を得ることができた。

コロナ対策を含めた災害対策の一環として、事業継続計画（BCP）を各部署が協力し、実効性のある内容に改変し、まとめあげることができた。

また、2019年に作成した人事考課要綱・人事考課マニュアルを2020年度は考課者の養成を目的として取り組み、人事考課を給与に適用させない形で実施した。2021年度からの本格実施とし、2022年度の給与・賞与に適用させるが、人事考課の基本理念に則り、職員が仕事に誇りをもち、生き生きと働くために、職員の意見を聞きながら制度の充実化を図っていきたい。

当法人は、利用者・職員それぞれの顔がみえる関係を構築できる適切な事業規模であり、フットワーク良くフレキシブルなサービスを提供し、今日の情勢下で、法人の独立を確保する。

新規事業については、新規事業検討会「はたけを耕す会」と法人本部が協力し、候補地を見つけることが出来た。具体的な交渉を進める段階まで到達した。

2020年度は、法人の財務については、コロナ禍の影響を受けながらも、職員が安定的に業務に就いてもらえ、利用者数の増減も少なく、安定した経営が確保された。人事面では、2019年4月より導入した「準正規職員」「短時間正規職員」制度に対する職員間の理解が深まり、希望者が増えている。人事担当者の努力により雇用状況は安定しているが、このコロナ禍においても、東京都における介護事業所の有効求人倍率は5.4倍と高く人手不足状態である。その中で、外国人職員1名が「特定技能1号（介護分野）」の試験に合格することができ

た。本人の努力に加え、各部署の法人職員がチームとなって支援した成果と考えている。

2019年12月、法人本部事務局を曙光園事務所から、アゼリア2階事務所に移転したことにより、2020年度は法人内部統制と法人組織強化を図った。これまでの曙光園事務部と法人本部事務局が相互乗り入れしていた業務については、役割分担を明確にし、スムーズな運用を図る予定であったが、コロナ禍や労務管理上の問題もあり、2021年度へ持ち越す課題となった。

懸案であった空調設備の更新について、2020年5月～6月にかけて、ご利用者の個室について全てルームエアコンを設置した。2020年10月～12月にかけて、東京都令和2年度民間社会福祉施設設備改善整備費（補助金）を受け、曙光園1階事務室・リハビリテーション室・看護室・食堂・調理部事務所共用部の空調設備を水冷から空冷への更新を実施できた。曙光園1階ホール・浴室・2階共用部については、社会福祉法人清水基金への助成金申請をしたが、2020年1月に落選の連絡を受けた。2021年度は、空調更新工事に加え、ロスナイ換気システム工事を東京都の大規模修繕工事として申請する予定である。

社会福祉法人全国スモンの会は、患者会「全国スモンの会」からの成り立ちや趣旨より、近年、全国から若い時にスモン被害にあわれた方から加齢による二次障害等の相談があり、関係機関への連絡調整を図るシステムを構築する。

当法人として患者会「全国スモンの会」についての資料等を整理し、後世へ伝える取り組みを強化するために、法人定期刊行物『曙光』においては、障がい者福祉の枠を超え、薬害・難病などについてメッセージを発信し、法人発足時の理念を継続的に社会に示し、社会的責任を果たす努力を図る。

## 機関運営

当法人は、社会福祉法附則第10条の適用を受けた社会福祉法人であり、猶予期間が令和2年3月31日に満了し、2020年度の機関運営について、理事7名 評議員9名 監事2名の体制を構築した。コロナ禍の中、2021年1月の理事会からZOOMでの開催を実施した。

## 虐待防止への取り組み

2020年5月に、職員が失念したことにより、ご利用者をトイレに2時間以上放置するという虐待（ネグレクト）が起きてしまった。2019年度においても同様なネグレクトがあり、半年間かけて職員間で議論し、対策を講じていた。その最中でのネグレクトについて、改めて問題の大きさを深刻に捉え、法人として、各部署の職員と外部理事・外部評議員・第三者委員が参加する「虐待等及び

生活支援全体の問題点を調査し防止対策を協議するプロジェクトチーム」(以下PT) 設置し、毎月議論を重ね、2021年3月14日理事会において、PT座長である米川理事から法人理事長に、報告書が提出された。

サービス向上委員会と虐待防止委員会を連動して開催し、職員全員に「障がい者虐待防止マニュアル」を配布し、「虐待防止：自己チェックリスト・職員相互チェックリスト」に加え、「利用者からのチェックリスト」によるアンケート調査を実施し、集計結果を職員に公表する。

また、虐待が伺われる事例については、法人四役が虐待防止対応規程に則り、法人として主体的に「虐待か否か」判断し、東京都及び実施者(区市町村)に虐待報告を提出する。

## グループホーム事業の充実

共同生活援助入居利用者の生活安定を図り、将来の地域生活に向けての取り組みの強化を図る。入居定員は満床を継続し、ご利用者が地域での自立生活を実現するための支援を図り、できるだけ多くのご利用者の退居を目指したが、コロナ禍により難しい状況が続いている。

また、短期入所4床についても、レスパイト・体験利用等を含めた柔軟かつ円滑な利用を推進し、年間利用率アップを目指し(前年60%)、経営の安定を図ってきた。

## 特定技能1号外国人職員の採用

2020年4月より、特定活動の在留資格で有期雇用契約職員として採用していたネパール人の女性が、介護分野における特定技能1号の在留資格を取得し、2021年2月16日から特定技能1号外国人職員として採用することができた。特定技能1号は、最大5年間の在留資格のため、常勤職員をして採用することが出来ないため(所謂無期転換が出来ないため)、有期雇用契約職員就業規則を改正し、労働条件・サービスを限りなく常勤職員と同等の資格とする「特定技能1号外国人職員」という立場を明確にした。今後も、特定技能1号外国人職員の採用を進めるとともに、特定技能1号外国人職員が介護福祉士国家資格を取得できるように、研修や教育環境等を充実させていく。

## 職員研修

社会福祉法人全国スモンの会の理念と基本方針を理解し、社会情勢を的確に捉え、現場の実践に反映できる職員を養成するために、積極的に研修への参加を図ってきたが、研修そのものが減少したが、リモートでの参加を呼びかけ、出来る限りの対応をした。会議室に大型テレビを設置し、ZOOMを活用した研修が



できるようにハード面の整備を行った。

職場内研修（木鶏会）は、法人本部の責任で、常勤職員・非常勤職員のシフトを調整し毎月開催する。より多くの職員が参加できる機会を設け、普段あまり交流することができない部署や役職が異なる職員と交流しコミュニケーションをとる事が出来る場として今年度も実施したが、ソーシャルディスタンスを確保するために少人数での実施となった。

また、毎月の職員会議では、各部が持ち回りで、OJTの一環としてミニ研修（15分間程度）を1年を通じて開催する。短時間の研修であり、エッセンスを抽出した内容でわかりやすく資料も充実し、コロナ禍での情勢を的確に捉えて研修が多く、職員の取り組みが際立っていた。

東京都社会福祉協議会主催の講師派遣事業については、今年度も第1期・第2期の2回を申込み、曙光園・アゼリアそれぞれ2回の実施予定だったが、後半2回は、リモート研修としたところ、1人の講師は都合で実施出来ず、3回の実施となった。内容は、全て虐待防止に関する内容とした。

名護学院との交流研修については、今年度も相互の職員交流を図り、今後の事業展開への情報収集と人材育成を図る予定であったが、コロナ禍で交流できる環境を整備することは出来なかった。

外部研修については、より良いサービス提供をするために、高い専門性を向上できる研修を中心に、社会福祉の基礎的学習や社会福祉関係者・社会福祉関係者以外の人間関係を拓げるための研修にも取り組む予定であったが、研修の減少とコロナ対応に追われ、50%ほどの実施で終わってしまった。

また、経営の責任を担う法人幹部や幹部候補を中心に、施設長研修をはじめ財務・労務を中心とした経営ノウハウを学ぶ研修に参加し、社会福祉情勢を分析し、最良の経営戦略を選択できる人材養成を図るために、来年度は、2名の管理職を施設長研修に申し込むことにした。

## 法人施設の維持・営繕・防災

昨年度設置した曙光園非常用自家発電設備について、非常時に可動するように日常的なメンテナンスを怠らないように、信頼できる業者に、2020年10月に保守管理を契約した。

居室のエアコンファンコイル（吹き出し装置）が、この2年間で5室故障し、ファンコイルの部品製造が終了しているため、急遽仮設のルームエアコンを設置した。2020年5月～6月に、法人独自予算で、全てのご利用者居室にルームエアコンを設置した。

2019年11月に、曙光園の空調設備について全室と共用部分に空冷個別空調を設置するための計画を作成し、先ずはファンコイルが故障した時点で直ぐ

に空冷個別空調工事を可能にするための基盤工事を実施し、故障すれば直ぐにルームエアコンを設置できる体制を確保した。この対症療法的な対応では、いずれ対応出来なくなるので、今年度中に東京都中規模模修繕や民間財団清水基金に補助金・助成金を受け、空調設備更新工事を実施した。

法人事業継続のため、施設建物等の改修修繕を計画的に実施する予定だったが、今年度も眼前の故障対応に追われているのが実情である。空調設備については一定の目処を立てることができた。しかし、ボイラー等給排水設備の改修見直し・職員住宅の老朽化・生活介護事業専用スペースの確保等々、中長期改修計画を作成し、計画的に工事費用等を準備する必要がある。

現状における給排水設備・消防設備・軽度の営繕等については、劣化状況や、検査等での指摘に応じて対応してきた。懸案であるエレベーター新設工事については、中長期改修計画の中で、改めて検討したい。

防災については、BCP を実効性のある内容に改編した。曙光園とアゼリア双方に防災備品・備蓄食品の充実させ、備蓄場所を確保する。近隣地域住民には、納涼祭などの法人が主催するイベントへの参加を呼びかけなど日常的な交流を図り、秋に予定している総合防災訓練には多くの方が参加いただけるように、BCP に基づいた自衛消防訓練を実施した。

## 地域交流

地域の小平神明宮八雲祭、白梅学園大学の学園祭、小平西地区・地域ネットワーク（西の風）、小平市内の通所施設や家族会等のネットワークである「卒後の会」への参加、等々、施設長・部長級職員が参加できる体制を図る予定であったが、コロナ禍により、ほとんど開催されることが出来ず、例年の交流は実施出来なかった。2018 年度の第三者評価で指摘された地域の大学との連携強化、2019 年度交流研修先である名護学院を通じての地域企業との連携強化・産学連携の強化等、また例年取り組んでいる法人主催の「納涼祭」、「総合防災訓練」「食品ロス運動」などの地域交流も、コロナ禍によって全ての点で滞ってしまった 1 年間となった。

法人として、リモートでのハード面で整備をしたので、今後、オンラインを活用した地域交流にも取り組んでいきたい。

## 情報セキュリティ

個人情報流出対策マニュアルを作成し、職員に個人情報保護の意識啓発を図っている。個人番号の取り扱いにおける特定記録郵便等の対応、FAX 送信における送信先を複数名で確認するダブルチェック、USB メモリによるデータ交換を極力使用しない法人管理体制、法人内パソコンのセキュリティワイヤーによ

る施錠、万が一の誤送信等への対応等のマニュアル化など、現状の取り組みを見直し、より一層に情報漏洩のないように対応を図ってきたが、特定個人情報の管理方法や給与等の振込についてのミスがあり、ダブルチェックなどの体制を強化する必要がある。

## 労務管理

「多様な働き方改革」に鑑み、準正規職員就業規則・短時間正規職員就業規則を定め、対象となる希望職員に対しては、就業規則に則った適切な対応を行っている。障害者雇用についても、障害者差別解消法・障害者雇用促進法に則り、合理的配慮を行い、ハード面ソフト面での整備を図り、障がいのある職員の雇用にも取り組んできた。

2020年2月より、「育児・介護休業および育児・介護短時間勤務制度に関する規程」を施行し、育児・介護休業の取得しやすくした。また、同年同月、有期契約職員就業規則改正をし、特定技能1号外国人職員が常勤職員同様な労働条件で働くことができる環境を整備した。

2018年度以降、自動車通勤規程により、対象職員に自動車通勤使用登録兼誓約書（運転免許証・自賠責保険・任意保険の写し）の提出を義務づけ、自転車通勤規程により対象職員自転車通勤使用登録兼誓約書（自転車保険等の写し）の提出を義務づけことにより、毎月更新内容をチェックし、当該職員に伝えてきた。

## 安全衛生委員会

労働安全衛生法に則る法人全体の職員安全衛生管理規則により、産業医・衛生管理者を配置し、労働者4名（過半数代表者2名を含む）と管理者4名の委員で構成する安全衛生委員会を毎月実施、法人・各施設における労働環境の向上に努めた。安全衛生委員会（会議）を法令に従い原則毎月1回実施している。会議終了後は産業医による事業所の巡回を実施し、その後産業医による面談の時間を、職員に対し設定している。

### 安全衛生委員会（会議）実施記録

| 通算回数 | 開催日       | 時間 | 議題  |
|------|-----------|----|---|
| 第30回 | 2020/4/17 | ※  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員過半数代表者の変更（報告）</li> <li>・今年度上半期の健康診断（週30時間以上勤務全職員対象）について</li> <li>・今年度の安全衛生委員会（会議）議題の予定について</li> </ul> |

|      |            |       |  |
|------|------------|-------|--|
| 第31回 | 2020/5/18  | ※     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のストレスチェック実施について（見積合せ）、</li> <li>・法人職員の健康診断について（5月までの健診が全てキャンセルになったことの報告）</li> <li>・法人による新型コロナウイルス対策の取り組みについて</li> </ul>   |
| 第32回 | 2020/6/8   | ※     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策について（嘱託産業医より資料提示）</li> <li>・職員の年次有給休暇消化について</li> <li>・職員の超過勤務時間と、時間外労働・休日労働に関する協定書（三六協定）について</li> </ul>   |
| 第33回 | 2020/7/20  | 16:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策について（法人の対応など）</li> <li>・今年度のストレスチェックの実施について</li> <li>・傷病休職から復職した職員の、復職後の経過について</li> </ul>   |
| 第34回 | 2020/8/3   | 16:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のストレスチェック実施について（調整経過）</li> <li>・今年度の健康診断の進捗について</li> <li>・傷病休職から復職した職員の、復職後の経過について</li> </ul>   |
| 第35回 | 2020/9/14  | 16:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度のストレスチェック実施について（実施案内）</li> <li>・傷病休職から復職した職員の、復職後の経過について</li> <li>・安全衛生委員会構成員の変更について</li> </ul>   |
| 第36回 | 2020/10/19 | 16:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全衛生委員会新構成員の紹介</li> <li>・今年度のストレスチェック実施について（実施報告）</li> <li>・傷病休職から復職した職員の、復職後の経過について</li> <li>・上半期健康診断（定期健康診断）の終了報告</li> <li>・下半期健康診断（特定業務従事者健診）実施について</li> <li>・年次有給休暇の計画的な消化について（「基準日」についての情報共有）</li> <li>・安全衛生の観点から利用できる備品の導入および検証について</li> <li>・新型コロナウイルスの流行に際し、各職員が心がけるべき感情のコントロールについて（嘱託産業医からの助言）</li> </ul> |
| 第37回 | 2020/11/16 | 16:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスチェック実施の経過報告、および「面接指導申出書」「アドバイスシートサンプル」様式の確認</li> <li>・「曙光園職員の衛生に係る備品等に関するアンケート調査」結果と考察報告</li> <li>・備品購入に関する希望および対応</li> </ul>  |
| 第38回 | 2020/12/21 | 16:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスチェック実施結果の報告</li> <li>・下半期健康診断（特定業務従事者健診）受検調整について</li> <li>・「曙光園職員の衛生に係る備品等に関するアンケート調査」に</li> </ul>   |

|      |           |             |   |
|------|-----------|-------------|---|
|      |           |             | <p>おける検討内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「消費者庁許可 特定保健用食品」指定緑茶の配布について（職員の福利厚生の一環として）</li> </ul>  |
| 第39回 | 2021/1/18 | 16:30<br>※※ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・下半期健康診断（特定業務従事者健診）の受検、進捗について</li> <li>・時間外労働・休日労働に関する協定書（三六協定）について</li> <li>・理事会承認事項の報告（育児・介護休業および育児・介護短時間勤務制度に関する規程、確定拠出年金制度の導入）</li> <li>・「消費者庁許可 特定保健用食品」指定緑茶の配布について（続）</li> <li>・備品購入に関する希望および対応</li> </ul> |
| 第40回 | 2021/2/15 | 16:30<br>※※ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・下半期健康診断（特定業務従事者健診）の受検、進捗について</li> <li>・次年度の健康診断について</li> <li>・職員代表者署名の記載について</li> <li>・備品購入に関する希望への対応について</li> </ul>  |
| 第41回 | 2021/3/15 | 16:30       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の健康診断、予約等の進捗について</li> <li>・健康経営優良法人2021認定（ブライツ500）について（報告）</li> <li>・理事会承認事項の報告他（人事考課実施及び給与表改正に関する合意について、歯科医師による職員を対象とした衛生面での指導についての提案）</li> </ul>   |

※＝新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令により、構成員で議案等の書面を回覧することで会議形態での開催に代えた。

※※＝新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、嘱託産業医は電話によるリモート出席とした。

## 評議員会・理事会の開催

運営機関に関する会議について、開催案内、役員・評議員との連絡調整、会議資料作成・送付、議事運営支援、議事録作成に取り組み、会議の円滑な運営支援を心掛けた。

### 定例評議員会

第 103 回評議員会 2020 年 6 月 14 日（日）10 時 45 分

第 104 回評議員会 2021 年 3 月 14 日（日）11 時

※一部出席者は Web 会議システム ZOOM を利用

### 定例理事会

第 142 回理事会 2020 年 5 月 17 日（日）

※新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令に伴う、書面・電磁的記録による開催

第 148 回理事会 2020 年 10 月 18 日（日）10 時

第 149 回理事会 2021 年 1 月 17 日 (日) 10 時

※一部出席者は Web 会議システム ZOOM を利用

第 150 回理事会 2021 年 3 月 14 日 (日) 10 時

※一部出席者は Web 会議システム ZOOM を利用

#### 臨時理事会

第 143 回理事会 2020 年 6 月 14 日 (日) 10 時

第 144 回理事会 2020 年 7 月 18 日 (土) ※書面・電磁的記録による開催

第 145 回理事会 2020 年 7 月 28 日 (火) ※書面・電磁的記録による開催

第 146 回理事会 2020 年 8 月 2 日 (日) ※書面・電磁的記録による開催

第 147 回理事会 2020 年 9 月 24 日 (木) ※書面・電磁的記録による開催

第 151 回理事会 2021 年 3 月 31 日 (水) ※書面・電磁的記録による開催

#### 広報活動

##### 定期刊行物『曙光』の発行

計画の通り、4 月、7 月、10 月、1 月の年 4 回、定期刊行物『曙光』を発行した。全国スモンの会 後援会会員、その他支援者、曙光園利用者（希望者）、曙光園の職員などを対象としている。

| 発刊番号   | 発行日             | タイトル・記事  |
|--------|-----------------|--|
| No.460 | 2020 年 4 月 1 日  | 「HACCP (ハサップ)」<br>・ 驥尾 (きび) に付す 中村裕<br>～日本パラリンピックの父 (第 3 回)～ (相良真紀子)<br>・ わが国における HACCP 認証の取組 (湯川剛一郎)<br>・ 食品安全水準底上げに対する阻害要因分析 (豊田知世 他)                  |
| No.461 | 2020 年 7 月 1 日  | 「てんかん」<br>・ 驥尾 (きび) に付す 中村裕<br>～日本パラリンピックの父 (第 4 回)～ (相良真紀子)<br>・ てんかん患者に見られる精神症状とその原因 (加藤昌明)<br>・ 曙光園における送迎用車両整備事業の報告 (編集部)<br>・ 全国スモンの会後援会 活動報告 (橋本健一) |
| No.462 | 2020 年 10 月 1 日 | 「メディア・リテラシー」<br>・ 驥尾 (きび) に付す 中村裕<br>～日本パラリンピックの父 (第 5 回)～ (相良真紀子)<br>・ マスメディアの劣化とソーシャルメディアの興隆 (青山貞一)<br>・ 高度化するメディア・リテラシー (立田慶裕)                        |

|        |           |   |
|--------|-----------|---|
| No.463 | 2021年1月1日 | 「HSP (Highly Sensitive Person)」<br>• 驥尾 (きび) に付す 中村裕<br>~日本パラリンピックの父 (第6回) ~ (相良眞紀子)<br>• Highly Sensitive Person Scale 日本語版 (HSPS-J19) の作成<br>(高橋亜希)<br>• HSP は物事を深く考える (串崎真志) |
|--------|-----------|---|

### 3. 補助金・助成金事業

- 社会福祉法人 東京都共同募金会 (配分決定は 2020 年度)  
※令和元年度 NHK 歳末たすけあいによる配分の決定  
曙光園における送迎用車両整備事業 2020年5月29日納車  
総事業費 3,815,000 円 うち共同募金配分 2,500,000 円
- 東京都福祉保健局  
障害者支援施設 ICT 機器導入支援モデル事業  
非接触バイタルセンサー、居室カメラ、トイレ見守りシステム等の導入  
総事業費 9,944,550 円 うち補助金交付額 6,629,000 円
- 東京都福祉保健局  
令和 2 年度民間社会福祉施設設備改善整備費補助金事業 (中規模修繕)  
曙光園 1 階共用部空調設備更新工事  
総事業費 9,570,000 円 うち補助金交付額 4,785,000 円
- 東京都福祉保健局  
令和 2 年度障害者支援施設等における新型コロナウイルス感染症対策強化  
事業  
(隔離送迎用) 福祉車両の購入、および (リモート会議用) ICT 機器の購入  
総事業費 2,184,919 円 うち補助金交付額 2,180,000 円
- 東京都福祉保健局  
令和 2 年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 (障害分)  
物置およびサイクルポートの設置、ガスカセットボンベ型温風機、空気清浄機、  
加湿器、非常用トイレ、アルコール消毒液、マスク、プラスチックグローブ、

フェースガード、防護服、薬用ハンドソープ、体温計  
**総事業費 7,342,000 円（全額補助）**

- 東京都福祉保健局  
令和 2 年度新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業者に対するサービス継続支援事業補助金  
事業継続に必要な人件費等のかかり増し経費  
**総経費 55,000 円（全額補助）**

- 小平市健康福祉部障がい者支援課事業推進担当  
小平市障がい事業所等衛生用品・備品等購入補助金  
曙光園およびグループホーム アゼリアの備品として、体温計、フェイスシールド、空気清浄機、プラスチックグローブなど  
総事業費 203,924 円 **うち補助金交付額 200,000 円**

#### 4. 法人職員体制

##### 法人各会議

運営施設 曙光園において以下の各会議を実施した。

- |                   |  |
|-------------------|--|
| ① 職員会議（全体会議）月 1 回 | ⑩ 福祉用具会議 月 1 回                                   |
| ② 個別支援計画会議 随時     | ⑪ 主任会議 月 1 回                                     |
| ③ 生活支援部会議 月 1 回   | ⑫ 部長級会議 月 1 回                                    |
| ④ 事故防止委員会 月 1 回   | ⑬ 法人経営会議 月 1 回                                   |
| ⑤ アクティビティ会議 月 1 回 | ⑭ 安全衛生委員会 月 1 回                                  |
| ⑥ 環境美化会議 月 1 回    | ⑮ 虐待防止会議 年 3 回                                   |
| ⑦ サービス向上委員会 月 1 回 | ⑯ 「虐待及び生活支援全体の問題点を調査し防止対策を協議するプロジェクトチーム会議」 月 1 回 |
| ⑧ 給食会議 月 1 回      |  |
| ⑨ リハビリ健康部会議 月 1 回 |  |

（2020 年 7 月～2021 年 2 月）

##### 法人職員健康診断

法令上、年 1 回の受診が必要な職員 42 名に対し定期健康診断を実施した。  
また 12 月には、夜勤に就業する職員 19 名に健康診断を実施した。



## 法人職員個人面談

人事考課制度を導入の上、各職員、役職者に対する面談を行った。人事考課制度の対象は常勤職員（正規職員・準正規職員・短時間正規職員）である。面談については人事考課制度の対象とならない非常勤職員に対しても同様に実施した。人事考課については年2回の面談、および調整会議を経て、その結果を対象職員に通知した。2020年度における人事考課は各職員・考課者ともに習熟を深めるための実施であり、その結果による給与等への反映を行わない。（2021年度からは労使合意のもと、人事考課結果の給与等への反映を行う。）

## 法人職員の入退職動向

法人全体での職員数の推移、および各事業所・部署の入職・退職者数は以下の通りである。

| 年月  | 職員数（各月末日基準） |     |    |        |
|-----|-------------|-----|----|--------|
|     | 常勤          | 非常勤 | 合計 | 常勤率（%） |
| 4月  | 35          | 42  | 77 | 45.5%  |
| 5月  | 37          | 38  | 75 | 49.3%  |
| 6月  | 37          | 41  | 78 | 47.4%  |
| 7月  | 36          | 38  | 74 | 48.6%  |
| 8月  | 39          | 34  | 73 | 53.4%  |
| 9月  | 37          | 33  | 70 | 53.0%  |
| 10月 | 37          | 32  | 69 | 53.6%  |
| 11月 | 38          | 31  | 69 | 55.1%  |
| 12月 | 38          | 33  | 71 | 53.5%  |
| 1月  | 38          | 36  | 74 | 51.3%  |
| 2月  | 38          | 34  | 72 | 52.8%  |
| 3月  | 38          | 34  | 72 | 52.8%  |

# 障害者支援施設 曙光園

## 1. はじめに

社会福祉法人 全国スモンの会  
曙光園  
施設長 小野寺和子

法人の基本理念を遵守すべく「利用者の健康維持向上、社会参加の拡張」と「職員の人格、技術、資質の向上」、を運営方針とした。

目標は「利用者の地域との交流と社会参加機会を増やし、利用者同士の交流を計ること」と「組織力の向上（安心して働き続けられる職場環境づくり）」。

### 利用者の地域との交流と社会参加機会を増やすこと

より広く、日中活動で制作した作品等を知って頂く機会を増やし、個人を対象とした販売のみならず、一定数以上の受注生産にも対応できるよう、顧客を開拓し、その反応を利用者にも伝えていくことにより、今後さらなる意欲や、やりがいの向上につなげることを計画していたが、新型コロナウイルスのため大幅に計画が狂うこととなった。工賃の一人当たり支給額についても、施設内での販売会やいつもより回数が少ない市役所販売であったため、増やすことが出来なかった。外部との接触も極力絶ったため作品を地域と交流するための媒体として活用することも出来ず、社会参加の機会、施設の中だけで生活するのではなく、地域と交流する機会も持つことが出来なかった。しかしながら、その代わりに利用者有志を中心とした、曙光園利用者親睦会による毎月の行事提案と実施、また各種イベント等での職員有志による催しの実施など、施設内での利用者同士また職員との絆を深める機会を持つことが出来た。

昨年末より取り組んでいた、小平市との防災協定も本年度5月に締結し、災害時には福祉避難所として、地域に貢献するとともに、利用者方にも、助け合う心を培って頂ければと思う。

個別支援会議等の実施により、各々が連携することで、実際に地域移行した際に円滑に生活できるよう、様々な実践的訓練の場とし、また昨年度末より開始した担当職員による個別支援プログラムの定着を図り利用者のリハビリテーションとともに職員の支援力の向上に努めた。外部での訓練等は難しかったが、施設内で出来る、訓練を支援した。

利用者有志を募り開催開始された「曙光園利用者親睦会」は利用者の活発な意

見交換の場となり利用者同士の自主性をはぐくむとともに、利用者自身による問題解決能力を養って頂けた。また本年度も、毎月1回、利用者同士の交流及び意見交換の場として「木鶏大学」を、参加自由とした上で、コロナ禍でリモートで実施の回もあったが、引き続き理事長監修のもと開催した。

利用者がそれぞれ、生きがいを見つけ、日々生活して頂くため、日常生活の支援をすべての部署が連携して実践するよう、計画的に行うことができた。

## 組織力の向上（人材育成と職員の定着）

利用者に対する質の高い支援を継続し提供できる組織として成長し続ける為にも職員個々の資質向上が重要である。そのための土台である「信頼と団結」は初代相良丰光会長の思いとして、引き継がれている。以下の取り組みを引き続き行った。

勤務する職員が思いやりの心を持ち、お互いの足りない部分を補い合い、それぞれの持っている特質を最大限に引き出し、助け合っていく為に「美点凝視」が習慣的にできるよう、また全職員がわたくしも含め、成長できるよう、法人木鶏会を本年も引き続き年間計画を策定した上で密になることを避け、少人数で開催した。

施設外部における研修参加はコロナで中止となるものもあったが、リモートで参加できるものについては、積極的に参加した。また毎月の各種定例会議時には各担当部署による施設内研修を実施した。近隣地域の住民の方へも情報提供できるよう仕組みを作り軌道に乗せることは来年度以降の課題とする。小平市で配布している、社会福祉法人協力案内については、より細かく、地域に活用して頂ける、資源を掲載している。

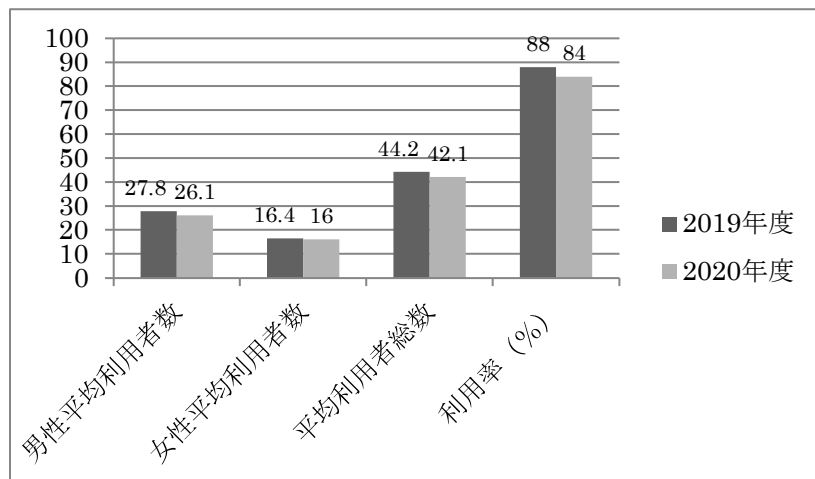
働き方改革に準じた規程については昨年度より運用開始。人材育成のために、職員が定着し、継続勤務が可能な職場環境を整え福利厚生充実を図った。職員個々のライフステージに沿った、ワークライフバランスへの配慮も引き続き行い、事情により休職せざるを得ない状態となっても、安心して休暇を取得でき、また、残った職員ひとりひとりに過剰な負担が増えることが無いよう、欠員が出た際、速やかに人員の補充ができるよう、常に人員配置に余裕が持てる採用活動を外国人や高齢者の受け入れも視野に入れ、引き続き行った。介護育児休業に関する情報提供や本年度より施工されたハラスメント防止規程にも対応するための相談窓口を設置した。心身ともに健やかな状態で勤務が継続できるよう、安全衛生推進委員会を随時開催した。職員の健康管理や感染症対策にも配慮を行い、協会けんぽによる健康優良企業の銀認定を継続取得。東京都社会福祉協議会による働きやすい福祉の職場宣言事業への参加、また厚生労働省による健康経営優良法人2021の商標も昨年度に引き続き取得した。昨年末より、敷地外にも

職員宿舍を確保し、外国人等、通勤が困難な人材についても採用が可能となった。新型コロナウイルスについても情報共有するとともに、職員ひとりひとりの感染予防の意識付けを行うとともに、小学校休業等に伴い勤務できなくなった職員への支援を行った。公共交通機関を利用して通勤しなければならない職員に対しては、感染予防のため、主に管理職が送迎を実施した。

### 利用者の状況（2020年3月31日現在）

曙光園の施設入所支援（定員50名）に対する平均利用人数・利用率、年代別利用人数と平均年齢、および利用者の移動方法別人数は下記のとおりである。

#### 施設入所 平均利用人数・利用率



#### 年代別利用人数と平均年齢

| 年齢                  | 20歳から | 30歳から | 40歳から | 50歳から | 55歳から | 60歳から | 65歳から | 70歳から | 75歳から | 80歳から | 85歳から | 平均年齢(歳) |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
|                     | 29歳   | 39歳   | 49歳   | 54歳   | 59歳   | 64歳   | 69歳   | 74歳   | 79歳   | 84歳   | 89歳   |         |
| 2019年度<br>人数<br>(名) | 0     | 0     | 3     | 4     | 11    | 7     | 5     | 5     | 5     | 2     | 1     | 58.6    |
| 2020年度<br>人数<br>(名) | 0     | 0     | 3     | 3     | 10    | 8     | 3     | 5     | 6     | 2     | 1     | 59.3    |

## 利用者の移動方法別人数

|        | 2020年度末<br>人数(名) |
|--------|------------------|
| 自立歩行   | 2                |
| 杖歩行    | 3                |
| 車椅子 自走 | 12               |
| 車椅子 介助 | 24               |
| 合計     | 41               |

- 外出時・施設内スロープの移動時に車椅子支援を必要な利用者は、車椅子介助として計上した。
- 施設内の平地で杖を使用する利用者で、外出時・施設内スロープの移動時に車椅子を使用する方は、車椅子介助として計上した。
- 1階居室の利用者で、平地自走、スロープ介助の方は、車椅子介助として計上した。

曙光園は、障害者総合支援法（当時は、障害者自立支援法）による運営に2011年度に移行する前には、身体障害者入所更生施設として運営されていた経緯を持つ。現在も「身体障害を主たる障害とされている方」を利用の対象としており、2020年度末では利用者41名全員が、身体障害者福祉法に基づく身体障害者手帳の交付を受けている。同手帳の交付地別利用者数、障害等級の内訳、障害名、および障害に至った病名、症状名は下記のとおりである。

身体障害者福祉法による、身体障害者手帳所持者（2020年度末現在）

### 交付地別利用者数

| 交付地     | 2020年度末<br>人数(名) |
|---------|------------------|
| 東京都多摩地区 | 18               |
| 東京都特別区  | 22               |
| 東京都島嶼部  | 0                |
| 東京都外    | 1                |
| 計       | 41               |

### 障害等級内訳

| 障害等級<br>(総合等級) | 2020年度末<br>人数(名) |
|----------------|------------------|
| 1級             | 25               |
| 2級             | 14               |
| 3級以下           | 2                |
| 計              | 41               |

身体障害者手帳における利用者の障害名、および障害に至った病名、症状名  
 (2020年度末現在) ※重複障害のケースがあるので、人数の合計は利用者総数と一致しない

| 障害に至った病名・症状名 | 人数 |
|--------------|----|
| 脳出血          | 12 |
| 脳性麻痺         | 9  |
| 脳梗塞          | 4  |
| くも膜下出血       | 3  |
| (疾患・疾病)      | 3  |
| 脊髄小脳変性症      | 3  |
| (外傷)         | 3  |
| 脳挫傷          | 2  |
| 脊髄の疾患        | 2  |
| 多発性硬化症       | 1  |
| 多系統萎縮症       | 1  |
| 大腿骨頸部骨折      | 1  |
| 脊柱管狭窄症       | 1  |
| スモン          | 1  |
| 混合性難聴        | 1  |
| 結核性脳膜炎       | 1  |
| 感音性難聴        | 1  |

| 障害名             | 人数 |
|-----------------|----|
| 四肢体幹機能障害        | 4  |
| 体幹機能障害          | 12 |
| 左上肢機能全廃         | 4  |
| 左上肢機能の著しい障害     | 3  |
| 左上肢機能障害         | 2  |
| 左下肢機能全廃         | 4  |
| 左下肢機能の著しい障害     | 1  |
| 左半身麻痺           | 3  |
| 右上肢機能全廃         | 4  |
| 右上肢機能障害         | 6  |
| 右下肢機能全廃         | 4  |
| 右下肢機能障害         | 5  |
| 右半身麻痺           | 2  |
| 両上肢機能の著しい障害     | 1  |
| 両上肢機能障害         | 4  |
| 両上肢機能の軽度障害      | 1  |
| 両手指機能の著しい障害     | 1  |
| 両下肢機能の著しい障害     | 2  |
| 両下肢機能全廃         | 2  |
| 両下肢機能障害         | 2  |
| 右上下肢痙攣性麻痺       | 1  |
| 心臓機能障害(ペースメーカー) | 1  |
| 移動機能障害          | 3  |
| 両視神経委縮          | 1  |
| 下肢弛緩性麻痺         | 1  |
| 聴力障害            | 3  |
| 言語機能喪失          | 1  |
| 言語機能障害          | 1  |
| 音声機能障害          | 1  |

重複障害として、身体障害者手帳以外に療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持つ利用者については、以下の通りである。

「療育手帳制度について」（厚生省（当時）発児第 156 号厚生事務次官通知）による、療育手帳所持者（2020 年度末現在）

交付地別利用者数

| 交付地     | 2020年度末<br>人数（名） |
|---------|------------------|
| 東京都多摩地区 | 3                |
| 東京都特別区  | 3                |
| 東京都島嶼部  | 0                |
| 東京都外    | 0                |
| 計       | 6                |

※東京都では「愛の手帳」と称する。

障害の程度内訳

| 障害の程度 | 2020年度末<br>人数（名） |
|-------|------------------|
| 1度    | 0                |
| 2度    | 0                |
| 3度    | 1                |
| 4度    | 5                |
| 計     | 6                |

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）による、精神障害者保健福祉手帳所持者

交付地別利用者数

| 交付地     | 2020年度末<br>人数（名） |
|---------|------------------|
| 東京都多摩地区 | 1                |
| 東京都特別区  | 2                |
| 東京都島嶼部  | 0                |
| 東京都外    | 0                |
| 計       | 3                |

障害等級内訳

| 障害の程度 | 2020年度末<br>人数（名） |
|-------|------------------|
| 1級    | 2                |
| 2級    | 1                |
| 3級    | 0                |
| 計     | 3                |

障害者総合支援法に基づく、曙光園利用者（施設入所支援。通所生活介護を除く）の障害支援区分平均は以下の通りである。

| 2020年度末平均 | 2019年度末平均 |
|-----------|-----------|
| 4.70      | 4.68      |

曙光園における 2020 年度内退所者、短期入所利用者の一覧を以下に示す。  
 (2020 年度においては新規入所者は 0 名であった。)

#### 2020 年度退所者

| 番号 | 性別 | 年齢 | 身体障害者手帳における障害名  | 障害総合等級 | 退所理由  | 退所日      |
|----|----|----|---|--------|---|----------|
| 1  | 男  | 59 | 脳梗塞による<br>上肢機能障害【右上肢機能全廃】、<br>下肢機能障害【右下肢機能の著しい障害】       | 2 級    | 入院期間が 2 ヶ月以上に達し、<br>転院の必要により施設への復帰が困難<br>になったため | 9 月 9 日  |
| 2  | 男  | 67 | くも膜下出血による<br>上肢機能障害【右上肢機能の軽度障害】、<br>下肢機能障害【右下肢機能の著しい障害】 | 4 級    | 本人の希望による高齢者施設への入所                               | 10 月 1 日 |

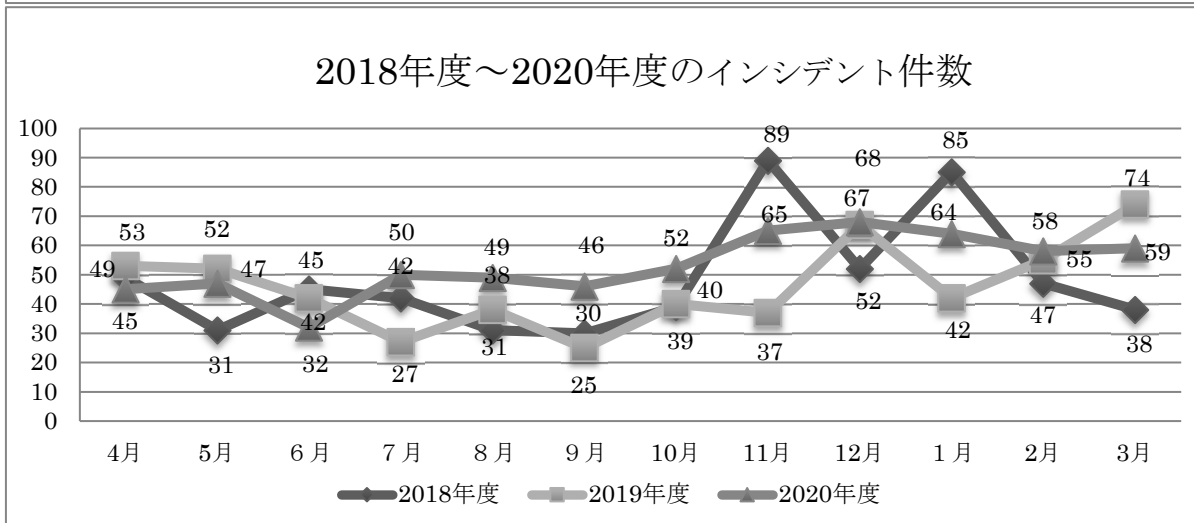
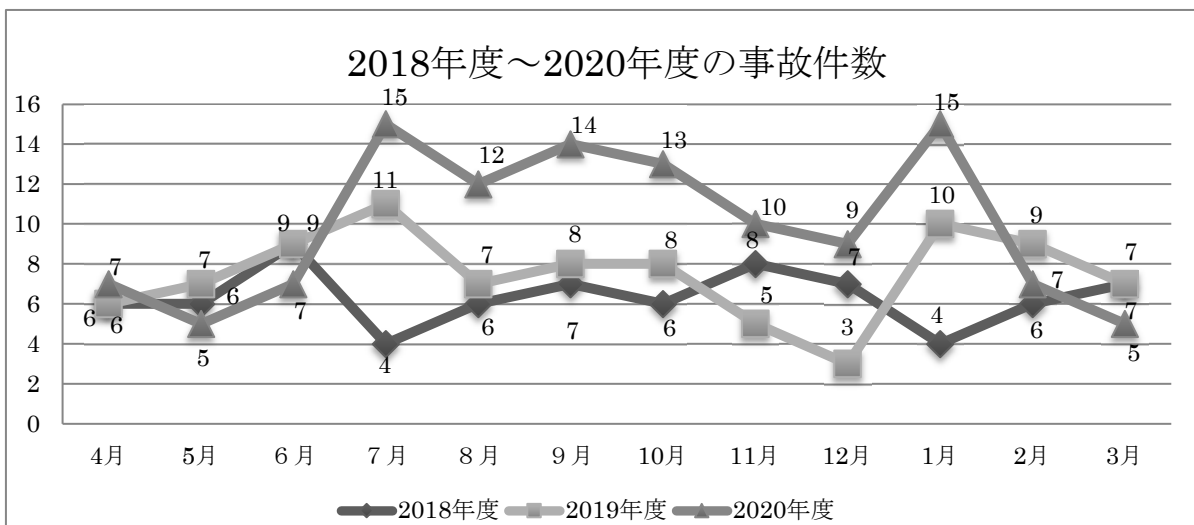
#### 2020 年度短期入所利用者

| 番号 | 性別 | 年齢 | 身体障害者手帳における障害名 | 障害総合等級 | 短期入所利用理由  | 利用期間                       |
|----|----|----|----------------|--------|---|----------------------------|
| 1  | 男  | 49 | 疾病による体感機能障害    | 2 級    | 施設入所希望によるマッチングのため<br>※その後グループホーム アゼリアをミドルステイにて利用中 | 10 月 1 日<br>～<br>10 月 31 日 |

#### 事故・インシデントの件数

2020 年度（および前年度までとの比較）の各件数を、次頁の図に示した。





## 苦情・ご意見

苦情とご意見については、法人内で委嘱した第三者委員による聴き取り調査を定期的実施した。利用者からの苦情・ご意見については、随時苦情解決責任者が、苦情解決担当者からの報告または直接聴き取りを行い、解決に向けた対応策を検討し改善するようにしてきた。利用者へは、改善方法をご説明して理解して戴けるように努めた。職員による苦情・ご意見の聴き取り調査を毎月行い、苦情解決責任者が苦情解決担当者と共に迅速に対応し解決するように努めてきた。利用者全員参加のもと毎月開催している懇談会において、苦情・ご意見に対しての改善内容について報告すると共に理解を求められるよう努めた。

この懇談会における苦情・ご意見の内容は「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」（厚生省(当時)2000年6月7日障第452号)に従い、個人情報に関するものを除き以下「懇談会における毎月の苦情・ご意見と、その解決に向けての取り組み」として記載した。

懇談会における毎月の苦情・ご意見と、その解決に向けての取り組み

| 2020年4月  |                            |
|--|----------------------------|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見  | 解決に向けての取り組み                |
| コールを鳴らしても来ない時があるかと思うと、呼んでないのに来る時がある。以前のコールは良く点検に来ていたが、きちんと点検して欲しい。 | 早急に対応致します。新しい、送信機をお渡ししました。 |

| 2020年5月  |   |
|--|---|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見  | 解決に向けての取り組み   |
| 居室が遠い。他の人を入れないで欲しい。  | 居室変更は状況によって行っておりますので、今は手も足も使用できるので、少し遠く感じるかもしれませんが今の居室でお過ごしください。また、同室者についても、新しく入所される方や、状況によって2名になる場合がございます。一人部屋で過ごすのは自立訓練の方なので、ご了承いただく。   |
| TV がコロナウィルスの事ばかりで、新しい情報を自分の辞書で毎日ずっと調べるので電池を2個使ってしまう。                             | ご自分で色々調べることは良い事だと思います。使用する頻度が多くなれば、電池も無くなってしまいます。早くこの状況が改善されることを願っていることを伝える。  |
| K・K さんが2F の共同トイレの洗面台を30分以上占領していて、次に待つK・K さんがいつも待たされている。いつも文句を言っている。              | 待たされているK・K 様からは苦情は出ていないので、事実内容を確認いたします。また、こういった内容は利用者同士でK・K 様の陰口を言っているのと同じであることを伝える。  |
| U・K 様からの話の確認を行う。<br>↓<br>もう殴る寸前まで来ている。<br>普通は歯磨きに30分も掛からない、終わったのに「終わりました」と言いに来ない | 生活支援員同席の元、聞き取り、説明を行うコミュニケーションを取らずに、「あいつはおかしい」など差別する発言があった為、「普通は〇〇」など他人を見下すような態度でいることは、不適切な発言であることの説明をする。K・K 様と話し合いをするよう促しをするが、「顔も見たくない」と歩み寄る気持ちか伺えなかった為、一旦考える時間を設けるよう伝え、聞き取りを終了する。また、上長へ報告する。 |

| 2020年6月  |  |
|--|--|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見  | 解決に向けての取り組み  |
| 聞いた事になかなか答えが返って来ない。<br>例えば、きつねっばら公園に行きたいと半年ぐらい前に話したけど返答がない。懇談会で話が出たかもしれないけど、自分はトイレに行っている時かもしれない。 | 以前にも話したかもしれませんが、朝の体操や日中作業などがあり、散歩支援に付いて出れる職員も限られた状態である為、30分で帰って来るのは難しい「きつねっばら公園」へは現在は行くことが出来ない状態です。また、懇談会で聞き取れなかったかとも言いますが、懇談会での話の内容はホワイトボードに記録し、聞き逃した方でも確認できるようにリハビリ室に提示してあると思います。都度確認するよう心掛けてください。 |
| 食事の時間に来れない人がいる。気になって、怒ってしまう。   | いろいろな人がいるので、遅れている人は職員が声を掛けて誘導しています。気になってしまうかもしれませんが、職員に任せてください。  |
| フロアの場所を指図する人がいる(D/K)どこに居てもいいはずなのに言われる。   | 本人には注意を促します。また、懇談会でも再度周知するよう皆さんへ伝えます。  |
| 皆の笑顔が少ない。  | 以前も同様な話が出ているのですが、改善されてませんか？新型コロナの影響もあるかもしれませんが、曙光園利用者親睦会が再開された際に自分の気持ちを発言して、皆さんでどのように過ごすか笑顔になれるか意見を交わすのも良いかと思えます。そして、私たちへ皆さんがどのように過ごしたいのか伝えてくださる方法もごさいます。検討してみてください。                                 |

| 2020年7月                              |                             |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見                    | 解決に向けての取り組み                 |
| トイレを使用中にノックをしないでトイレを覗く職員がいるのでやめて欲しい。 | 今後、そのような事が無いよう職員全員に注意を致します。 |

| 2020年8月  |  |
|--|--|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見  | 解決に向けての取り組み  |
| 食事入場する際に、TMさんが席から下がっている為、席に上手くつけない時があり、そういった際に、職員へ声を掛け誘導してもらおうと言われていたが、「待てばいい」と下がっているTMさんを注意するのでは無く、私を注意するのが納得いきません。 | TM様は朝食でみんなが入場し終わってからの服薬、退室の為、他の利用者が席に着くまで動かない様に声掛け促し支援を致します。また、このような事がおこらないよう、職員全員に周知致します。 |

| 2020年9月  |   |
|--|---|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見  | 解決に向けての取り組み   |
| 毎日入浴がしたい。<br>体臭が気になってしまう。  | 以前も同様な意見が出ていた為、どのように毎日過ごしているか確認を行う。(自身で濡れたタオルを利用し身体を拭く。)男性夜勤者の声掛けに対し、時々拒否もある。服を毎日交換することや重ね着を薄着にするなども汗で体臭が気にならないようになる為にはいい事かと思うので、行ってみて下さい。  |
| 日中作業活動が終わり、居室へ戻って用事をお願いしたくて支援員を呼ぶと「今は忙しいから駄目!」と言われる。2F担当の人に頼んではいけないのか? | 生活支援員の対応の際、そのような返答があったと言われた為、3人で話をする。<br>2F担当者はその時間帯に排泄や臥床の利用者の支援で対応がしきれずに「今はできない」と言うことを伝えていたが、本人が「頼んではいけない」と勘違いをし、苦情となる。部屋の物の移動など時間の掛かるものは担当支援員と時間を決めて行う、荷物の移動よりも排泄や臥床など危険が伴う支援が優先になってしまうことを伝え「すぐには対応できない場合があるだけであり、呼んではいけない」ではないことを再確認する。 |
| イベントなどの時に誰か職員に付き添ってほしい。今どんな事をしているかなど、                                  | 今後はイベントを楽しんでもらえるよう、そのように対応いたします。  |

|  |  |
|--|--|
| 詳しく解説をしながら支援をして欲しい。手品など今のようなことをしていると、歌ならどんな様子なのかなど。いつの間にか終わっている。 |  |
| トイレのドアの音が煩い。   | トイレのドアの故障で少し緩んでしまっている場所があるので、時々「ドン！」と大きな音で閉まってしまう場合があります。申し訳ありません。支援をする際は注意をしドアを閉めるように周知いたしますので、ご承知ください。 |
| 入浴準備の際に、職員が部屋の電気を点けたままにしていくので消して欲しい。                             | 職員に消すよう周知致します。また、忘れてしまう場合もある為、その際は、お手数ですがご自身で消してください。よろしくお願いします。   |

| 2020年10月   |   |
|--|---|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見  | 解決に向けての取り組み   |
| 洗濯やったら返して欲しい。(ネット)他のものに変わっていた。支援員に確認したら、私の名前を書いたと言った。私のじゃないのに。私のはもっと入れやすかった。 | 名前は何度も洗濯をすると消えてしまう為、職員が洗濯物の袋の中にあるもので、名前が消えている場合に名前を書く場合があります。その生活支援員もそうだと思います。元がどのような物か確認が取れない為、必ず自分の物には名前を書くようにしてください。よろしくお願いします。  |
| まだ、食堂入場時にT・Mさんが出ていて、私が入れなくなって職員へ「お願いします」と言うと「待ってください」と待たされる。直ぐやってくれるのは一人だけ。  | 職員へは周知しておりますので、入場時に職員へ「誘導お願いします」など、一言声を掛けてください。T・M様へも動かない様に注意をしておりますが、出来ない時もある為、そのような時は職員も注意はしておりますが、ご本人の方からも一言職員へ声掛けして下さい。また、職員から「待ってください」と言われた際は、先に入場している利用者様の入場支援で手が離せない場合もありますので、危険と感じたら動かずに支援員を待ってください。早く食べたい、薬を飲みたいという気持ちは分かります |

|   |   |
|---|---|
|   | が、職員が他の利用者の支援をしている場合もありますので、協力願います。   |
| どこでもいいから、ここじゃない場所へ行きたい。理由：後ろの人が、TVの前に居る時に蹴る。声が出ないから職員を呼べない。 | 職員も注意をして見っていますが、職員の目が離れた際にそのような事が起きてしまう時もある為、そのような場合は手を挙げて職員を呼んでください。誰がどのような状況で、ぶつかってしまうのか確認も必要な為、協力願います。また、誤ってぶつかってしまった場合に謝るよう懇談会時に利用者全体へ周知致します。 |
| 同室者が「まだいるので消さないで」というのに部屋の電気を消して行ってしまうので、私もやり返してやってる。        | 本人、H・Y様、支援員2名で聞き取りを行う。両者とも、譲り合う様子が無い為、この件に対しては、2人で話し合いをしてください。共同の部屋という事を忘れず願います。  |

| 2020年11月  |   |
|---|---|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見   | 解決に向けての取り組み   |
| 入浴時に蛇口に膝が当たって痛い。毎回ではないけど、ちゃんと見ているのか？注意して欲しい。  | 大変申し訳ございません。狭い中での介助で、支援員も注意をして移動していると思いますが、再度注意を呼びかけ、不安や怪我の無いように支援致します。   |
| 生活支援員が口腔のタオルでコップを拭いているのでやめて欲しい。   | 事実を確認し、今後そのような事が無いよう、指導いたします。申し訳ありませんでした。   |
| 同室者が大嫌い！<br>他の人なら、イビキとか多少うるさくても我慢できるけど、本当に嫌だ！<br>自分が嫌な人と同室になることで、ここから出るようにするためにわざと一緒の部屋にされてる。だから、早くここから出られるように頑張っている。 | 居室をかわっても、また、生活音や鼾がうるさかったり、同じような状態になる可能性もあります。同室者の変更については、支援部で相談し決めて行きますので、ご期待に沿えない場合もありますが、お気持ちは支援員一同周知いたしておりますので、何かあれば直ぐにおっしゃってください。 |
| 咳をしても口を押えない人が居る。エチケットは守って欲しい。特に食事中とか、K・Mさんのが咽て咳したのが飛んでくる。   | 以前にも話は出ているかと思いますが、もう一度周知出来るように懇談会でお話をします。   |

|   |   |
|---|---|
| <p>H・H様がトイレを使用後にトイレットペーパーで、手を拭くのをやめて欲しい。だから、手前の紙が直ぐに無くなる。</p>   | <p>H・H様はご自身でハンドタオルをもちますので、そのような行動は考えしかねます。事実確認が取れない為、紙が落ちていたからと使用しているという事、手前のペーパーが無くなるのは手を拭くのに使っているからだとは考えにくいです。大郷様が使用しやすいように、他の利用者さんも手前の紙が使いやすくて無くなるのが早いかと思います。直ぐに他の人を疑わないようお願いします。この件に関しては、本人に確認致します。</p> <p>H・H様：「そんな紙で拭いたらベタベタ手について嫌だ。」タオル使用を訴える。</p> |
| <p>利用者親睦会で、音楽を聴くことになり、先日急遽集まり、持っているかの確認だけだったのだが、H・KさんだけにK・Kさんが全部今持っている曲のリストを出せとすごい量なのにここで書けみたいな言い方をしているようで可哀想だった。他の人も持っているという人はいたのにH・Hさんだけに言っていた。</p> | <p>今回は職員がいない場所でのそのような状態であったということですが、報告ありがとうございました。傍で見ていて虐められてるようだと感じるのはとても良い関係とは思えないので、その場で言えるのであれば、「今の言い方は良くないです」など、利用者さん同士で解決できればとは思いますが、なかなか言い難い事だと思います。また、そう感じる事などあれば、今日のように報告ください。職員も2人の関係を注意をして観察します。</p>   |

| 2020年12月   |   |
|--|---|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見  | 解決に向けての取り組み   |
| <p>H・Yさんは食事用エプロンを利用しているが、終わった後自分でエプロンを外す時、ゴミを床に払って持ち帰ってまた使用している。何度か注意はしている。今部長へ報告した日は良かったが、直す気が無いように見えるので皆の前で言わないと直らないのではないかと感じたので、懇談会で言って下さい。</p> | <p>皆さんの前で個人に対する苦情で攻めるのは良くないと思います。様子を見て都度注意を行っていきますので、よろしくお願いします。また、床にゴミを捨てないように促しを懇談会では全体の注意としてお話できればと思います。</p> |

2021年1月

| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見   | 解決に向けての取り組み  |
|---|--|
| いつも食事の際、前と右の席の利用者がうるさい。席替えして欲しい。  | いつもひどいということはないはずですが。またよっぽどの事情がない限り席の移動はできませんのでご理解下さい。  |
| クリスマスの行事はとても楽しかった。  | ありがとうございます。これからも利用者の皆様が楽しめる行事を行っていきます。また曙光園利用者親睦会でも話し合ってみてはどうでしょうか。  |
| リハビリが少ない。増やして欲しい。   | まずは自己リハビリを毎日しっかり行って下さい。それが出来てから、増やしていくのか随時相談しながら決めていきましょう。   |
| 夜間帯なかなか居室トイレに来てくれないことがある。センサーを設置して職員に知らせることは出来ないか。  | 他の利用者の支援をしている場合があります。出来る限りお待たせしないよう努めて行きますが、安全を第一に順番に回っていますのでお待ちいただくこともあると思います。ご理解下さい。                             |
| もう少し自己リハビリと杖を使っての散歩の回数を増やして欲しい。   | まずは毎日必ずしっかり自己リハビリを行っていきましょう。その後で増やしていくのか、相談しながら決めて行きましょう。  |
| もっとリハビリを増やして欲しい。  | リハビリ健康部と相談していきましょう。  |
| 職員のことを何も知らない。もっと自己アピールしてきて欲しい。  | これを機会に自ら職員に話しかけてみてはどうでしょうか。  |
| ①以前はカラオケが AM だったのになぜ PM になったのか理由を知りたい。また変わったのなら連絡してほしい。<br>②朝の放送でその日の自己リハビリ担当者の名前も教えて欲しい。 | ①カラオケは職員の体制と安全面から時間の変更を行いました。皆さんにお配りしている毎月のスケジュール表を確認してください。<br>②自己リハビリについては遅番でも担当することがあるので、フロアに居る職員に聞いて確認をしてください。 |
| 1Fでテレビを見ているとH.YさんやK.Kさんがお喋りしていてうるさい。  | 曙光園利用者懇親会で話し合ってみてはどうでしょうか。あまりに酷い場合は職員の方から注意していきます。   |
| 新たな火種になりたくないのに誰とは言わないが、人のあら捜しをしている人がいる。平和にみんな仲良く過ごしたい。                                    | 曙光園利用者懇親会で皆さんと話し合います。  |



| 2021年2月  |  |
|--|--|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見  | 解決に向けての取り組み  |
| 感染症対策を職員の皆さんが全力を尽くしてくれて、とても感謝しています。ありがとうございます。                         | ありがとうございます。手洗い・うがいなどをしっかり行い、普段から健康管理に気を付けて過ごしましょう。                 |
| K 生活支援員が休んでいるのは、DK さんが冷たくしたからとある職員が言っていた。職員の休みの理由を利用者の前で話すのは良くないと思う。   | そのような話を耳にした時は、部長以上の職員にすぐに報告してもらえると助かります。                           |
| 爪切りだけでなく、耳掃除も行ってほしい。   | 曙光園のご利用者であれば、希望すれば耳掃除の支援を受けることができます。                               |
| 職員がトイレにコールで呼んでも、なかなか来ないときがある。尿失禁している時は早く交換してほしい。                       | 順次ご利用者の支援に回っていますので、多少お時間がかかる場合がございます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。           |
| 加湿器の水の補充をしてない時がある。気を付けて欲しい。  | 加湿器の水の補充は順番に回っておりますので、多少お時間がかかる場合がございます。よろしくお願いいたします。              |
| 一階フロアのテレビが新しくなり、画面がとても綺麗になって良かった。                                      | ありがとうございます。喜んで頂き何よりです。   |
| 部屋をかえて欲しい。   | 整理整頓をしっかりと行い、どのお部屋でも支障なく生活ができると思います。曙光園は訓練する施設です。まずはそこからはじめて見て下さい。 |
| 朝の散歩の時間をもっと延ばしてほしい。  | 土日の余暇日に個別支援プログラムとして散歩を取り入れてみるのはどうでしょうか。担当支援員に提案してみてください。           |
| 感染症対策の間、同室者の方の暴言が酷かった。そういう病気だから仕方ないかもしれないが、苦しかった。苦しい時に誰に伝えればいいのか分からない。 | 職員が訪れた時など、声を掛けてみて下さい。  |
| HH さんが「あれがない」「これがない」と職員を困らせていた。良くないと思う。                                | 支援員はご利用者の自立を手助けするためにいます。ご本人に理解して頂くように、その都度ご説明していきます。               |

| 2021年3月  |  |
|--|--|
| 曙光園・利用者に対する苦情・ご意見  | 解決に向けての取り組み  |
| 職員の嚙下体操の音が小さい。マスクをしているのが原因かもしれないが聞き取れない。改善して欲しい。             | その気持ちは大事ですので、今後も担当支援員と話し合っ、どのような生活をおくっていきたいのか相談してみてください。作業の内容を変えて行く等。                          |
| 食堂の入場の際に、車椅子の間隔狭く、ぶつかりそうになり、危険だと思う。煽られているようで怖いです。            | 懇談会で話し合ひましよう。ご利用者の皆様で周知していくことが大切です。  |
| 1階フロアは席の場所が決まっていなのに、「あっち行けよ」とK.Dさんが言う。止めて欲しい。                | 職員からご本人に説明させていただきました。またそのようなことが起きた場合、その場で職員を呼ぶようにして下さい。よろしくお願ひします。                             |
| K.Tさんが食事入場が始まると、1F 共同トイレに向かうのですが、その際後ろを確認せず急に後ろに下がってきて危ないです。 | 職員はそのような事がないよう見守りを行っています。ご自身でも間隔をあけるなどして自ら危険を防ぐようにして下さい。また気になることがあればその場で職員を呼んでください。よろしくお願ひします。 |

### 広報活動：「曙光園施設だより」の発行

法人各部署の主任および主査職にある職員が輪番で担当し、運営施設 曙光園での行事や利用者の日常を文章と写真で記載した「曙光園施設だより」を毎月発行し、利用者ご家族にご覧いただいている。

## 2. 生活支援部

### 2020 年度の目標

- ① 去年取り組んだ、利用者の日中の過ごし方の選択肢を増やし、平日（月一金）、と週末（土、日）の日中活動の内容を創作・生産活動と余暇（個人の嗜好、行事、外出）にさらにハッキリと区別し、利用者の日常生活をよりメリハリのあるものにする支援を目標とする。
- ② 日中作業活動の充実化  
日中作業内容の充実化、日中作業指導・支援を多くの生活支援部員が活動目的を理解した上で充分に行えるようにシフト・配置を調整して取り組んでいく。
- ③ 地域移行に向けた取り組み  
社会制度・社会資源の活用訓練の取り組み、地域移行後をした際の自身が取り入れる必要なサービスの把握・実施計画等を計画する。外出訓練については自立訓練（機能訓練）（日中事業）の利用者だけでなく生活介護（日中事業）利用者にも個別の希望に添えて取り組んでいく。
- ④ 個別支援プログラムの充実化  
ご利用者一人ひとりの目標に沿ったプログラムへ力を入れていく。主として「余暇活動日に担当支援員とともに散歩に出かける」、「広いスペースを利用し、車椅子自走操作向上を図る」、「園外の自動販売機で好みの飲み物を選択・購入・飲みながら歓談」など  
個別に取り組んでいくことを今年度は強化していく。  
2020 年度は上記 4 点を中心に利用者支援に努め、自立支援を目指すとともに健康管理や社会性を身につけて社会で自立した生活を送っていただけるよう支援してきた。

結果として、

- ① 日中作業活動においては、月平均延べ 1322.6 名（前年 1155.3 名）、散歩支援月平均 356.7 名（前年 168.2 名）であった。余暇活動においても、ゲーム・カラオケのプログラム参加者増加し、健康吹き矢については横ばいであった。後述の新型コロナウイルスの影響が大きいと考える。
- ② 日中作業の充実化においては、作業担当員を中心におおよそ 2 名体制で実施することができた。作業内容についても前年好評であった「組みひも」は引

き続き多くの利用者が取り組んでいた。また、牛乳パックを使った「座椅子」作り、四季に応じた「貼り絵」、納涼祭・作品展などの行事に向けた作品作りなど、新たな作業活動の提供により、利用者の参加増加する要因につながったと考える。施設内で販売会も行うことができ、利用者の達成感や満足感が得られた様子があった。

- ③ 今年度は、新型コロナウイルスの影響により外部講師のプログラムや外出訓練は行えなかった。例年とは違った形で生活を送ることになったが、少しでも利用者には良いサービス提供ができるよう試行錯誤した。新ゲームとしてのポッチャ、ハーバリウム創作活動の新設、プラネタリウム鑑賞、行事の振替りとしてスライドショーの上映会など様々な工夫を凝らした。
- ④ 個別プログラムの充実については、各担当支援員が担当利用者とともに自己実現、目標達成のためにそれぞれ掲げたものに対し積極的に取り組んでいた。立位の安定を目標に、平行棒での自己リハビリでの立ち上がり訓練や散歩時や余暇活動日の自走訓練、浮腫改善を目的に足浴あるいは、リハビリ健康部と協同しながらプーリー（上肢を交互に上下運動する器具）の取り組みを行えた。全体的に ADL が向上した利用者が多くみられた。
- 今年度は新型コロナウイルスの感染対策に追われる 1 年となり、利用者・職員共に「耐える」1 年であったと感じる。来年度に向け対策をしっかりと行い「共存」しながら、自己実現のサポートができるよう支援していくことを目標にしていきたい。

その他の計画として以下のものをおこなった。

#### ・生活介護（日中事業）

創作的活動の他に、利用者の日常生活（食事、睡眠、排泄、入浴、保清、整容、更衣、掃除、洗濯など）社会生活（買い物、受診、金銭管理など）、余暇（個人の嗜好、行事、外出）、環境美化などの支援を行った。

日常生活の支援は、利用者の ADL に合わせて、自身でできることが減らないよう注意して行った。

社会生活の支援も、各利用者の必要に合わせて対応し、自己選択、自己決定、自己責任といった自主性を損なうことのないように行った。

年中行事の支援は、利用者の生活に潤いと充実をもたらすよう、お花見、納涼祭、年末お楽しみ会、初詣等を行う。新型コロナウイルスの影響により読書の日、ワークショップ、音で遊ぼうなどのクラブ活動は行えなかった。

地域の社会資源を活用した行事等は平日（月一金）に実施。

週末（土、日）には、園内で映画の日、健康吹き矢、ゲーム等の活動を実施。

ドッグセラピー、外出支援（外食、買い物等の個別援助）等の余暇活動は週末（土、日）に予定したが、前述のコロナウイルスの影響により未実施であった。

環境美化の支援は衛生的で明るい生活環境を提供するため、シーツ交換、居室タオル交換・清掃、施設全般の清掃及び営繕を行った。また、季節毎の衣類や寝具の入れ替え等を援助し環境整備に努めた。

- 自立訓練（機能訓練）（日中事業）

定められた訓練期間に自立に向けた訓練を行い、地域移行して暮らすことへの自信を高める。また、随時、相談支援部員、生活支援部員、リハビリ健康部員との相談を行い、具体的な地域生活・社会生活を想定しながら、障害者手帳の活用、公共施設や公共交通機関などの社会資源の具体的活用法を学び、より実践的な外出訓練なども計画。しかし、新型コロナウイルスの影響により未実施となってしまった。

- 施設入所支援

個々の利用者の特性に合わせ、適切な生活リズムを保ちながら、充実した日常生活・社会生活・余暇活動が主体的に行えるよう、夜間生活を支援した。

### ◎生活支援部会議実施

ご利用者が安心・安全、健康的な生活を送っていただくために下記会議を実施し、支援サービスの充実を図り、また施設環境の整備に繋げる。

- 事故防止委員会 月 1 回

毎月の事故に対しての原因・対策検討、インシデント分析

- アクティビティー委員会 月 1 回

集団レクリエーション・個人余暇活動、日中作業活動の報告

- 生活支援部会議 月 1 回

業務進捗等確認、連絡事項、調整、業務標準化、マニュアル見直し

- サービス向上委員会 月 1 回

利用者の意見・懇談会提案事項の検討、OJT 発表

- 環境美化委員会 月 1 回

園内での環境・設備改善

- 個別支援計画会議 随時
- ボランティア会議 随時
- 福祉用具会議 月 1 回
- 虐待防止委員会

◎ 個別支援計画の作成と支援サービスの提供

ご利用者一人ひとりの目標設定をし、目標達成に向けた取り組みや日常生活の状況を基に計画を作成。支援サービスの提供については、ご利用者またはご家族の意向を反映した内容とし、提供内容の説明、ご利用者、ご家族の理解、同意を得た支援計画を作成。定期的に支援計画を評価し見直しを実施する。

個別支援計画に基づき、心身の状況に応じ、支援サービスの提供を行い、QOL の向上を目指す。

個別支援計画は年度の前月（3 月）中に作成し、見直し（モニタリング）は9月中に実施。

自立訓練は、6 月、12 月にも実施する。

• 各種マニュアルの整備と見直し（業務標準化）

各種マニュアルを作成し、それに沿った日々の業務を遂行。また、適宜見直しを行い、作業手順を常に最新にして統一された適切なサービス提供、サービス内容の質の向上、職員の作業負担軽減等、利用者の生活環境の整備、向上に努める。

• 職員（福祉人）の資質・専門性の向上

各種研修の実施により福祉人として必要な知識・対人援助技術の向上を図る。

- 新人研修・社会人研修
- 医学・リハビリ講習
- 人権擁護・プライバシー保護
- 身体拘束防止・虐待防止
- 介護技術
- 感染症予防
- リーダー研修

• 地域との交流（連携強化）

地域行事への参加やボランティアの方々との交流を持つ。今年度は、夏の

納涼祭や秋の消防訓練の参加呼びかけなどを実施する。多くの近隣住民の方の参加が得られ曙光園の認知度も向上してきた。今年度も地域自治体との連携や地域行事への参加実施を継続し地域との連携を図る。

• レクリエーション、行事の開催（アクティビティー活動）

多種多様なレクリエーション、季節行事の開催を行う。ご家族との交流機会となるよう行事案内等も行った。

外出援助（グループ援助）、ドライブ、買い物の日等の園外行事、その他余暇に対する 情報提供を行い、社会参加を支援。

• 苦情解決

ご利用者または、ご家族からのサービスに関する苦情に迅速かつ適切に対応するために相談窓口の設置と苦情解決体制の整備を行い、内容の記録を行った。

• 環境美化

居室及び共有スペース、施設の周囲等の生活環境を快適な状態に維持するために日々の居室清掃、環境整備業務を行った。また、高所清掃や車椅子・杖等の点検なども実施し安全かつ衛生面において保清に努めた。

• 年間スケジュール

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 散歩      | 日中活動日<br>(月曜日～金曜日 天候による) |
| 外出支援    | 随時                       |
| 日中作業活動  | 月曜日～金(土)曜日               |
| 健康吹き矢   | 第1土曜日                    |
| カラオケ    | 第2土曜日                    |
| ゲーム     | 第3土曜日                    |
| 習字の日    | 第2、第4水曜日                 |
| 音で遊ぼう   | 第2木曜日                    |
| 映画の日    | 第1、第3日曜日                 |
| 読書の日    | 第2日曜日                    |
| ドッグセラピー | 隔月、第3土曜日                 |
| ワークショップ | 第4金曜日                    |
| 買い物の日   | 2回/年 (6月、11月)            |
| ドライブ    | 2回/年 (6月、10月)            |

|           |                  |
|-----------|------------------|
| お花見       | 3月下旬（開花日により変更あり） |
| 法人設立記念日   | 4月12日            |
| 曙光園開所記念日  | 7月1日             |
| 七夕        | 7月7日             |
| 納涼祭       | 8月最終土曜日          |
| 小平市障害者作品展 | 11月末～12月初め       |
| 年末お楽しみ会   | 12月第3日曜日         |
| 正月行事      | 1月1日、2日          |
| 初詣        | 1月3日             |
| 節分        | 2月3日             |
| ひな祭り      | 3月3日             |



2020年度 日中活動・余暇活動参加人数集計表

| 行事・項目      | 4    | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12   | 1    | 2    | 3    | 平均(月)  | 合計    |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|-------|
| 社会教養講座     | 317  | 497  | 445  | 549  | 458  | 415  | 488  | 335  | 408  | 438  | 387  | 442  | 431.6  | 5179  |
| 散歩支援       | 347  | 529  | 314  | 100  | 252  | 406  | 489  | 234  | 479  | 317  | 367  | 447  | 356.75 | 4281  |
| 日中作業活動     | 1199 | 1381 | 1206 | 1267 | 1338 | 1265 | 1384 | 1268 | 1403 | 1355 | 1289 | 1516 | 1322.6 | 15871 |
| ゲーム        | 13   | 12   | 30   | 8    | 10   | 14   | 22   | 10   | 16   | 19   | 14   | 22   | 15.8   | 190   |
| カラオケ       | —    | 13   | 14   | 17   | 12   | 17   | 21   | 22   | 22   | 20   | 18   | 21   | 17.9   | 197   |
| 健康吹き矢      | —    | 11   | 9    | 9    | 11   | 15   | 10   | 14   | 16   | —    | 11   | 16   | 12.2   | 122   |
| お茶の会       | 39   | 40   | 41   | 38   | 41   | 40   | 41   | 41   | 46   | 39   | 40   | 45   | 40.9   | 491   |
| 映画の日       | 17   | 71   | 68   | 62   | 21   | 46   | 68   | 21   | 21   | 43   | 44   | 36   | 43.2   | 518   |
| 読書の日       | —    | —    | —    | —    | —    | 27   | 27   | —    | —    | —    | —    | —    | 27.0   | 54    |
| 習字の日       | 25   | 38   | 35   | 36   | 37   | 32   | 37   | 33   | 33   | 38   | 36   | 33   | 34.4   | 413   |
| 音で遊ぼう      | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —      | 0     |
| ドッグセラピー    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —      | 0     |
| ワークショップ    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —      | 0     |
| 外出(自立訓練)支援 | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —      | 0     |
| グループ支援     | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —      | 0     |
| 買い物代行支援    | 36   | 36   | 39   | 32   | 33   | 34   | 17   | 17   | 26   | 20   | 13   | 19   | 26.8   | 322   |
| 理容         | 13   | 14   | 13   | 11   | 11   | 9    | 15   | 12   | 17   | 11   | 8    | 16   | 12.5   | 150   |
| 美容         | —    | 7    | —    | 8    | —    | 7    | —    | 8    | —    | —    | 11   | 7    | 7.5    | 30    |
| 外部販売       | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —    | —      | 0     |

2020年度 行事参加人数表

| 行事・項目       | 4  | 5 | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 備考   |
|-------------|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| お花見         | 25 |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |
| 法人設立記念      | —  |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |
| 6月ドライブ      |    |   | 26 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |
| 7月買い物の日     |    |   |    | 27 |    |    |    |    |    |    |    |    |      |
| 開所記念        |    |   |    | 49 |    |    |    |    |    |    |    |    |      |
| 納涼祭         |    |   |    |    | 50 |    |    |    |    |    |    |    | 通所者含 |
| ムーちゃんクラブ    |    |   |    |    |    | —  |    |    |    |    |    |    |      |
| 内部販売会(9月)   |    |   |    |    |    | 18 |    |    |    |    |    |    |      |
| ハーバリウム創作    |    |   |    |    |    |    | 28 |    |    |    |    |    |      |
| 総合防災訓練      |    |   |    |    |    |    | 23 |    |    |    |    |    |      |
| 11月買い物の日    |    |   |    |    |    |    |    | 26 |    |    |    |    |      |
| ドライブ        |    |   |    |    |    |    |    | 17 |    |    |    |    |      |
| 障がい者作品展     |    |   |    |    |    |    |    |    | 17 |    |    |    |      |
| クリスマスキャロリング |    |   |    |    |    |    |    |    | —  |    |    |    |      |
| 年末お楽しみ会     |    |   |    |    |    |    |    |    | 46 |    |    |    |      |
| 正月行事(元旦・2日) |    |   |    |    |    |    |    |    |    | 77 |    |    | 通所者含 |
| 初詣          |    |   |    |    |    |    |    |    |    | 8  |    |    |      |
| 節分(豆まき)     |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    | 48 |    |      |
| プラネタリウム①    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    | 20 |    |      |
| スライドショー①    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    | 22 |    |      |
| びゅあーと展見学    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    | —  |    |      |
| プラネタリウム②    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 28 |      |
| スライドショー②    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 31 |      |
| お花見(ドライブ)   |    |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 35 | 通所者含 |

### 3. 相談支援部

#### 「安心」をコーディネートする

2019年の事業報告では「入所中の皆様とご家族が共に安心して生活できるようにコーディネートすることが（中略）大切な役割である。」としたが、今年度は、コロナウィルスの影響下で、正に「安心」が大きな課題であったこと、また、ご家族のご協力とご支援が、いかに重要であるかを再確認した一年であったと振り返る。

「安心」と相反する言葉が「心配」であるとすれば、この状況下で、いかに心配の種を減らしていくかを考えた中で重視したのは、情報の共有である。

感染防止策として、面会や外出、帰宅をお控えいただくようお願いする中、施設の内側と外側とで、情報が遮断されないように、これまで以上にご家族への連絡を密に行うように心掛けた。その結果、前年度の連絡件数がひと月あたり10件から多い月でも30件前後であったのに対し、今年度は40件前後から50件に上った。

そうした報告連絡だけではなく、少しでもご家族との交流を図っていただこうと、入所者ご本人からご家族へお電話する支援を積極的に行った。これについては、どのご家庭からも予想以上の喜びの声と共に、職員へのお見舞いと感謝の言葉までいただいた。

コロナウィルスの影響による厳しい状況ではあったが、こうした情報共有が「安心」をコーディネートする上で最重要事項であることを認識することができたことは、大きな収穫であった。

さらに、普段はなかなか言葉を発しない方が電話口でお返事をしている様子や、ご家族との会話中に普段は目にしたことがないような笑顔を垣間見て、ご家族の力がどれ程大きいものか実感をし、再びご家族と共に暮らすことを目指すこと、またそのために必要な支援について考え続けることが責務であると再認識した。

#### 情報の充実化（地域移行の実現）

今年度も、毎月の担当者会議（個別支援計画の振り返り）、福祉用具会議、主任会議へ、主にオブザーバーとして出席をしてきたが、障害福祉サービスの運用方法について、生活支援部をはじめとした直接支援を担当する職員の理解が徐々に深まっていることを実感した。

そうした理解は、各自の専門性の再認識に繋がり、ひいては地域移行に向けた連携体制の強化に繋がると考える。

曙光園の特徴である自立訓練利用者の外出訓練は、コロナウィルスの影響により実施できなかったことは大変残念であったが、各会議で次年度に向けて新たな取り組みを検討することができた。

地域移行については、0件という結果になったが、介護保険への移行や転院の支援を行う中で、地域移行に必要なサービス調整に有用となる新たな経験と情報を入手することができた。

退所3名（死亡1名、転院1名、介護保険へ移行1名）

### 曙光園からの発信を促進（入所促進）

主に東京都内在住の、身体障害者とその支援者のニーズに対応するために、今年度も都内全域の障害福祉課とリハビリテーション病院を中心に、郵送による案内を行った。（6月131件・10月124件）

10月の案内では、これまでなかった取り組みとして、全国スモン会ご利用者の活動の様子を写真にまとめたものを同封した。

その結果、99件のお問い合わせをいただき、そのうち12件の現地調査と4件の見学案内を実施、4名の新規通所者をご案内することができた。

前年度と比較して、見学案内が大幅に減少したものの、その他については微減に留めることができた。

見学案内の減少の理由として、昨年に引き続き、先方の負担軽減のために現地調査を積極的に取り入れたこともあるが、コロナウィルスの影響は大きい。

それでも、入所検討にあたっては欠かすことができない、「ご本人と会って話をすること」を現地調査という形で継続できたことは、岸部統括施設長および小野寺施設長の協力によるものである。

また、利用希望者の最終的な意向確認のための見学案内では、生活支援部長とアゼリア施設長に協力を得て、全国スモンの会のコンセプトを現場の声でお伝えすることができたことにより、安心してご利用いただくことができたことと振り返る。

以上のように、入所促進は、曙光園という一つのチームによって取り組んできたことを改めて実感している。

今後も積極的に他部署との連携をとりながら、より多くの皆様をご案内できるように研鑽を重ねたい。

## 4. リハビリテーション健康部

本年度は、利用者が自律し自立した日常生活の向上を目標として業務を実施した。自立に関してはADL動作、処置時の動作等出来ることが増えてきておりリハビリテーション健康部としての目標を達成できた。自律に関しては疾患、生活歴により難しい場面が多々見られた。

しかし、各部と協力し繰り返しあきらめずに指導することで少しずつ利用者の意識に変化がみられた。来年度も継続して実施していく。

新型コロナ対策として早期から衛生用品を確保し日々の処置を継続して実施できるように努めた。リハビリでも療法士同士のソーシャルディスタンスを図り衛生にもいつも以上に注意を払いながらリハビリを実施した。来年度もこのような状況が続くと思われるので継続していく。

### リハビリテーションの充実

本年度も総合リハビリテーションとして職員と利用者が共に考え、共に実現して行く機能訓練を提供した。

当施設は、作業療法士（Occupational Therapist：OT）による専門的訓練を実施し、利用者の運動機能や生活歴についての共通理解を持ち、その上で専門的関与を行った。

ケース会議に関しては継続して実施することができた。各利用者の検討・評価事項を様々な職種で話し合うことにより昨年度より実生活に沿った目標設定をすることが出来るようになった。会議の結果も報告書を作成し、会議に参加していない職員にも情報共有ができるようにしている。

また、会議で上がった検討・評価事項に対する返答が以前より早くなりスピーディーに対応することが出来た。会議に出席する職員がいつも同じメンバーが参加しているので来年度は様々な職員が参加できるよう生活支援部に協力を依頼した。

本年度も日常生活動作の評価法としてバーセルインデックス（Barthel Index；機能的評価）を運用し客観的なADL（Activities of Daily Living）の状態を全職員が共有することができた。来年度も継続して運用し施設内外に利用者の現状を詳細に情報提供できるようにする。昨年度から外出訓練を実施しており本年度も実施していく予定であったが新型コロナの影響もあり全く実施できなかった。来年度は新型コロナの状況を見ながらリモートによる外出訓練等の計画もしている。

生活支援部と協力し自主・自己リハビリ委員を作ることを目標にしていたが

選出することが出来なかった。自己・自主リハビリの新規提案と実施方法の伝達、評価はケース会議や個別支援会議を通して実施してきた。委員会の立ち上げ時期と方法をまとめ来年度は実施できるようにする。

### **健康管理・併存疾患・慢性疼痛等への対策**

当施設利用者は、いわゆる固定的な「障害」のほかに、入所の時点で併存疾患を有するものが多い。

また、利用者の高齢化が進んでいることから、それら依存疾患・慢性疼痛等に対するケア・管理の必要度が高い。

身体計測を月1回実施し（最終木曜日：男性、最終金曜日：女性）BMI（Body Mass Index）も継続記録する。利用者へ分かりやすく説明する為に、結果については年間グラフを用い分かりやすい説明・指導を実施した。利用者自らの健康に気を付けるようになり体重の大幅な増減が減る結果になっている。

生活環境衛生の向上に努めた。今年は新型コロナの流行もあったので施設内研修でガウンテクニックについての研修を実施。実践に即した研修を実施できた。また、各感染症対策として、施設全体向けに感染症が流行する時期に感染症対策・予防方法を周知し、例年通りインフルエンザウィルスワクチン接種を実施した。肺炎球菌ワクチンの接種については対象利用者がいなかったため未実施。

### **摂食・嚥下機能、口腔衛生・言語訓練**

歯科医師による、摂食・嚥下機能、口腔衛生各領域の評価・治療を進めた。また、嚥下機能に変化がある利用者については担当医師の指示のもと定期的に評価・治療を依頼した。園内で治療が行えない時は、園と往診医師、通院医療機関と協力して治療をうけた。

療法士による言語訓練を継続して実施した。全体に向けては朝の体操で実施した。参加率も80%以上となり機能訓練の一環として定着した。全体訓練のみでは不十分な利用者に対しては個別で訓練を実施した。

### **福祉用具の適正使用**

本年度も、施設にある福祉用具を実際に試行し、利用者が自分に合った福祉用具を迅速に選定、導入することができた。また、福祉用具会議（主任会議前に開催し主任、主査が参加）で議論し施設全体で補装具、車椅子などの製作に関り、車椅子・各種装具の適正使用に努めた。

生活・訓練での利用者の様子を他部署と協力し評価し、ニーズに沿った福祉用具を提供した。車いす点検を生活支援部と協力して定期的実施することにより作業効率が向上し、より細かく車いすの状況を把握できるようになった。

## 施設内外研修会

リハビリ健康部職員がガウンテクニク、車いすについての施設内勉強会を実施した。資料には写真を多く掲載し、研修では実技を多くすることにより理解度が高くなるように工夫して勉強会を実施した。

## 精神衛生・こころの健康

生活歴や原病に基づく心理過程、集団・共同生活に伴う心理的ストレスを理解し、利用者が安心して安らげるような支援をおこなった。

今年は新型コロナの影響でご家族、知人に会えず心が不安定になる利用者が特に多かった。月1回の精神科医のカンファレンスを受ける機会を設ける事で精神衛生・こころの健康が維持できた。

## 協力医療機関の確保

本年度より、新たに立川新緑クリニック、菅家医院が協力医療機関となった。東大和病院、西多摩歯科クリニックは継続して協力医療機関である。利用者健康診断も4月より上記医院に依頼した。新型コロナの影響で健康診断に受診出来ない時期があったが連絡を取りながら時期を調整し全利用者の健康診断を実施することが出来た。

また、定期受診についても各医療機関に都度連絡しご家族の代行受診、リモート受診等を行いながら感染予防に配慮しつつ利用者の健康を守ることが出来た。医療機関にどうしても受診をしなければならない場合は各部と協力し感染予防に注意をしながら受診を実施した。

なお、2020年度入退院状況[入院日順]（表1）、医療機関受診状況[診療科別延人数・頻度順]（表2）、[医療機関別延人数・頻度順]（表3）、機能訓練実施状況[訓練内容別延人数]（表4）は、運営状況の参考資料として添付した。

2020年度 入退院状況[入院日順] （表1）

| 氏名  | 疾病名     | 医療機関名          | 診療科          | 入院日   | 退院日     |
|-----|---------|----------------|--------------|-------|---------|
| M・H | 症候性てんかん | 立川災害<br>医療センター | 救急病棟         | 7月19日 | 8月19日   |
|     |         | 西多摩病院          | 障害者入院<br>基本料 | 8月19日 | 9月14日退所 |

|     |           |       |      |        |        |
|-----|-----------|-------|------|--------|--------|
| T・K | 腸閉塞疑い・便秘症 | 東大和病院 | 消化器科 | 10月11日 | 10月15日 |
| K・S | 水頭症       | 東大和病院 | 神経内科 | 11月30日 | 12月1日  |

2020年度 医療機関受診状況〔診療科別延人数、頻度順〕（表2）

| 診療科                 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|---------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 歯科                  | 98 | 80 | 91 | 80 | 60 | 83 | 94  | 67  | 75  | 40 | 59 | 75 | 902 |
| 内科                  | 51 | 52 | 48 | 46 | 45 | 43 | 74  | 64  | 51  | 47 | 44 | 40 | 605 |
| 精神科（カウンセリング）        | 0  | 8  | 8  | 8  | 0  | 8  | 8   | 8   | 8   | 8  | 8  | 9  | 81  |
| 泌尿器科                | 2  | 1  | 1  | 5  | 4  | 1  | 3   | 2   | 3   | 0  | 2  | 2  | 26  |
| 精神科                 | 2  | 0  | 3  | 1  | 3  | 1  | 1   | 2   | 1   | 3  | 1  | 3  | 21  |
| 整形外科                | 2  | 1  | 3  | 4  | 2  | 1  | 3   | 2   | 1   | 0  | 1  | 0  | 20  |
| リハビリテーション科          | 1  | 1  | 2  | 2  | 1  | 3  | 1   | 1   | 2   | 1  | 1  | 2  | 18  |
| 脳神経内科               | 1  | 2  | 0  | 4  | 0  | 1  | 1   | 2   | 0   | 3  | 0  | 1  | 15  |
| 眼科                  | 1  | 1  | 1  | 2  | 3  | 0  | 1   | 1   | 3   | 1  | 1  | 0  | 15  |
| 歯科・口腔外科             | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0   | 3   | 2   | 2  | 4  | 1  | 13  |
| 皮膚科                 | 1  | 0  | 0  | 2  | 0  | 2  | 1   | 1   | 0   | 1  | 0  | 1  | 9   |
| 形成外科                | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 1   | 0   | 3   | 0  | 0  | 3  | 9   |
| 外科                  | 1  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 2   | 0   | 0   | 2  | 2  | 0  | 8   |
| 神経内科                | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 2  | 0   | 1   | 0   | 1  | 0  | 2  | 7   |
| 耳鼻科                 | 0  | 0  | 2  | 0  | 0  | 0  | 2   | 0   | 0   | 1  | 2  | 0  | 7   |
| 脳神経外科               | 1  | 0  | 3  | 1  | 1  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 6   |
| 小児科                 | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 1   | 0   | 0  | 1  | 0  | 5   |
| 産婦人科                | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 1  | 0   | 0   | 1   | 0  | 0  | 1  | 5   |
| 呼吸器内科               | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0   | 1   | 0  | 0  | 1  | 4   |
| 呼吸器科                | 1  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 1  | 0  | 0  | 4   |
| 救急外来                | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 1   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 4   |
| 消化器科                | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 1   | 1  | 0  | 0  | 3   |
| 放射線科                | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 1  | 2   |
| 心身障害者福祉センター<br>多摩支所 | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2   |
| ペースメーカー外来           | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |
| 消化器内科               | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1   |

2020年度 医療機関受診状況[医療機関別延人数、頻度順] (表3)

| 機関名                          | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|------------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 西多摩歯科<br>クリニック               | 98 | 80 | 91 | 80 | 60 | 83 | 94  | 67  | 75  | 40 | 59 | 75 | 902 |
| 和田医院                         | 51 | 52 | 43 | 41 | 41 | 39 | 50  | 38  | 47  | 42 | 38 | 38 | 520 |
| 中山宏医師<br>カウンセリング             | 0  | 8  | 8  | 8  | 0  | 8  | 8   | 8   | 8   | 8  | 8  | 9  | 81  |
| 菅家医院                         | 0  | 0  | 2  | 2  | 1  | 1  | 1   | 1   | 1   | 1  | 1  | 2  | 13  |
| 立川新緑クリニック                    | 0  | 1  | 9  | 5  | 4  | 3  | 3   | 3   | 3   | 4  | 5  | 0  | 40  |
| 東大和病院                        | 3  | 1  | 1  | 5  | 2  | 3  | 5   | 3   | 3   | 2  | 3  | 5  | 36  |
| 村山医療センター                     | 2  | 1  | 2  | 2  | 1  | 3  | 1   | 1   | 2   | 1  | 1  | 1  | 18  |
| やさか記念病<br>院（旧松見病<br>院）       | 2  | 0  | 3  | 1  | 3  | 1  | 1   | 2   | 1   | 3  | 1  | 3  | 21  |
| 一橋病院                         | 1  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 4   | 1   | 4   | 1  | 1  | 1  | 14  |
| 立川病院                         | 0  | 2  | 0  | 3  | 1  | 0  | 2   | 1   | 1   | 2  | 0  | 0  | 12  |
| 武蔵村山病院                       | 0  | 0  | 1  | 3  | 1  | 3  | 0   | 1   | 1   | 0  | 1  | 1  | 12  |
| 国立病院機構<br>東京病院               | 3  | 0  | 0  | 2  | 1  | 1  | 1   | 0   | 1   | 1  | 1  | 1  | 12  |
| 渡辺眼科<br>クリニック                | 1  | 0  | 1  | 1  | 2  | 0  | 0   | 0   | 2   | 0  | 0  | 0  | 7   |
| 国立病院機構<br>災害医療セン<br>ター       | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0   | 3   | 2   | 2  | 4  | 1  | 13  |
| こうた皮膚<br>科・<br>泌尿器科<br>クリニック | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1   | 1   | 1   | 0  | 1  | 0  | 6   |
| 東京小児<br>療育病院                 | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 1   | 0   | 0  | 1  | 0  | 5   |
| 公立昭和病院                       | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 1  | 0   | 1   | 0   | 1  | 0  | 1  | 6   |
| 増田耳鼻科                        | 0  | 0  | 2  | 0  | 0  | 0  | 2   | 0   | 0   | 1  | 2  | 0  | 7   |



|                         |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国立精神・<br>神経医療研究<br>センター | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 多摩総合医療<br>センター          | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 東大和病院附属セン<br>トラルクリニック   | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 5 |
| 新座病院                    | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 東京都心身障<br>害者福祉セン<br>ター  | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 東京慈恵医科<br>大学附属第三<br>病院  | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 新山手病院                   | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 花小金井ハー<br>トクリニック        | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 武蔵野赤十字<br>病院            | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 久米川病院                   | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |

2020年度 機能訓練実施状況[訓練内容別延人数] (表4)

| 訓練名     | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計    |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 体操(集団)  | 329 | 722 | 622 | 576 | 594 | 568 | 620 | 666 | 669 | 326 | 560 | 685 | 6937 |
| 関節可動域訓練 | 437 | 458 | 474 | 494 | 429 | 435 | 466 | 427 | 511 | 274 | 296 | 372 | 5073 |
| ストレッチ訓練 | 431 | 456 | 472 | 492 | 429 | 435 | 467 | 427 | 511 | 273 | 296 | 372 | 5061 |
| 筋力強化訓練  | 410 | 426 | 454 | 465 | 406 | 416 | 448 | 404 | 490 | 269 | 277 | 359 | 4824 |
| 歩行訓練    | 193 | 209 | 209 | 214 | 189 | 201 | 199 | 166 | 197 | 116 | 110 | 120 | 2123 |
| 立位訓練    | 155 | 127 | 171 | 152 | 137 | 143 | 156 | 146 | 165 | 83  | 84  | 124 | 1643 |
| ニューステップ | 60  | 66  | 45  | 43  | 37  | 44  | 41  | 19  | 37  | 33  | 40  | 50  | 515  |
| エルゴメーター | 26  | 25  | 23  | 29  | 22  | 17  | 31  | 31  | 35  | 24  | 28  | 34  | 325  |
| バランス訓練  | 41  | 28  | 19  | 18  | 16  | 14  | 13  | 7   | 11  | 9   | 6   | 11  | 193  |
| 環境設定    | 3   | 4   | 0   | 40  | 7   | 0   | 1   | 12  | 5   | 2   | 0   | 14  | 88   |
| ホットパック  | 8   | 5   | 5   | 6   | 8   | 5   | 3   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 41   |
| ADL訓練   | 3   | 2   | 0   | 0   | 2   | 1   | 1   | 0   | 1   | 3   | 0   | 0   | 13   |
| 耐久性訓練   | 3   | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 7   | 12   |
| 起居動作訓練  | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   | 4    |

## 5. 調理部

### はじめに

2020年度は「食育」を重要課題とし、改めて調理部としてできる食育とは何かを職員一人ひとりが念頭に置き業務に臨み、「食」は生きる上で最も重要な役割を担っていることを再認識した一年であった。

日々変動する利用者個々の状態に合わせ適時対応ができる体制にまで強化できたのも、職員一人ひとりが利用者への「心と身体の健全」目指し、栄養バランスのとれた食事を提供すると共に、利用者調査等を通じコミュニケーションを深め、心身状況を含めた栄養管理ができたことにより、生活習慣の予防に加え、ストレス耐性の強化にも貢献できたと推察できる。これも「心と身体の健全」を維持できる食事の提供に、こだわり続けた結果であると評価できる。

一方、職員の高齢化や人員不足も深刻化しており働きやすい環境作りに取り組むため業務の簡素化や個別対応の統一化などの見直しに併せ、厨房機器や調理システムの見直しも行ったが、人員の入れ替わりや業務の浸透、定着等課題も多く進捗にまでには至らなかった。引き続きの課題としていきたい。

本年はオリンピック・パラリンピックイヤーとして注目されていた一年であったが、新型コロナウイルス感染症による世界的なパンデミックにより全てが一変し、生活様式の変化も求められた。その中でもウイルスに感染しにくくするにはヒトが持つ非特異的な感染防御能である。ヒトにはあらゆる病原体に対して非特異的な感染防御能があり、重要となってくるのが栄養である。規則正しい生活と適度な運動は時間栄養学的に見ても感染防御能を高めるため、引き続き調理部では健全な食事の提供を目指し、利用者、職員の健康増進に向け、現状に甘んじることなく一つ一つの料理を丁寧に、心のこもった調理の提供に努めていく。

### 栄養と健康

栄養は不足しても過剰になっても、体に負担がかかり、かたよった食生活を続けると、生活習慣病にもつながるため、日々の生活の中で食事はとても重要なものであると位置づけ、利用者・職員の健康を維持、増進できるよう、栄養管理されたバランスの良い食事を提供した。

併せて、「健康」と同時に「美味しい」にもこだわり、「食の楽しみ」を感じてもらえるよう、いっそう真心を込めた食事の提供を心掛けた。

また、「食べる力」も身につけてもらえるよう、「心と身体の健全」を目指し、健康的な生活習慣を送るには栄養バランスのとれた食事に併せ、定期的な

運動や、十分な睡眠を心がけることが生活習慣を保つことに重要であることを繰り返し伝えたことにより、「心と身体の健全」の重要性について浸透しつつある。継続して取り組んでいく。

## 食の充実

食とは生命を維持し、心身が健康で幸福な生活を送るのに欠かせないものであるため、

健全で充実した食生活を実現できるよう、嗜好調査、利用者調査（満足度調査）、栄養マネジメントを実施し、利用者の意見を反映できるよう努めた。

また、偏食の改善への取り組みや正しい摂取動作についても観察し、他部門と連携し利用者個々に応じた食形態や自助具・食器等の提案、日々の状態にあった食席高の変更など、摂取動作の見直しも随時行った。

併せて、アレルギーへの対応や咀嚼力・嚥下力に応じた食形態にも対応した。

## イベント食

年間計画として、施設行事や季節行事に付随するイベント食及び、調理部主催のイベント食を年に2回（8月＝ハンバーガーランチ、11月＝串揚げバイキング）実施した。

また、前年に引き続き、調理部主催によるお茶の会を毎月実施し平均94%の参加率となった。

併せて、利用者参加型お茶の会も年4回実施し27名参加した。今年度より、参加者を対象に終了後のアンケートも実施し、その場だけでなく作業内容を振り返り考え学べる場として取り組み、利用者との意見交換する貴重な時間を共有することができた。

## 食材の管理

食材の管理では、利用者・職員への食の安全に十分注意を払うと共に、適切な温度帯で管理し、賞味期限を把握して欠品がないように心掛けた。また、食品庫、冷蔵・冷凍庫の整理、整頓、清潔を保ち、衛生管理の徹底に努めた。

## 非常食の管理

非常用備蓄食材の管理は非常用備蓄食材を使用した献立をもとに、曙光園3ヶ所（3日分×100食）、アゼリア2ヶ所（3日分×50食）に備蓄し、それぞれの品目、数量、消費期限を管理した。また、非常食に併せ常時備蓄品として約80品目をストックし備えた。

前年からの課題事項である食材の写真や調理工程等に加え、使用食器のリスト

も併せて添付できるよう、順次取り組んだが完了までには至らなかった。引き続き取り組んでいく。

また、保存場所の温度（25℃以下）・湿度（80%以下）の管理も実施した。

今年度中に消費期限が切れる食材については都度切れる前の購入を実施し不足の無いよう注意を払った。食材においては事前に懇談会等で利用者へ説明した上で非常食体験とし献立に反映するなど、ローリングストック法に取り組んだ。

### **衛生管理・感染症対策**

安全かつ安心して給食の提供を行うため、調理部職員の健康、衛生管理維持を徹底し、月1回の細菌検査、年に2回のノロウイルス検査（ノロウイルス多発時期）を実施した。

併せて、手洗い・うがいの励行、トイレの衛生管理も徹底して行った。

また、感染症対策は、リハビリテーション健康部、生活支援部と連携し、職員の衛生意識をより一層高め、感染の予防に努めた。

### **環境衛生**

食事環境として最適な空間づくりを心掛け、衛生的かつ過ごしやすい雰囲気づくりを目指した。昨年に続き、衛生に重点を置き、日々の清掃を強化し、食堂、厨房全体を衛生に保てるよう、清潔で明るい環境づくりを徹底し、安全な食事の提供を心掛けた。今年度は特に新型コロナウイルスの感染予防に伴い、徹底した衛生管理を実施した。

また、引き続き食事時間には音楽の提供を行い、リラックスした環境の中、食を楽しんでもらえるよう努めた。

### **内部研修**

衛生管理（衛生講習会）、調理技術の習得（随時）等、内部研修を充実させるために、給食委員会等の時間や作業の合間の時間を利用し、さらなる「食」のプロフェッショナル目指し、調理部職員間での勉強会を実施した。

併せて、各部の内部研修や外部研修にも参加できるよう取り組んだ。

### **臨床栄養管理の推進**

リハビリテーション健康部と協力し、身体状況（身長・体重・BMI・体脂肪率・腹囲等の計測、生活活動状況）及び、臨床検査データ（貧血・鉄代謝検査、総蛋白・アルブミン・電解質・摂取エネルギー（カロリー）、摂取塩分、摂取水分、

食物アレルギー等)に合わせ、栄養摂取状況(必要栄養量、栄養指示内容、食事形態)を調査の上、利用者の栄養状態を把握し、より個々に適した食事の提供に努めるとともに、結果を他部門と共有し、利用者の健康管理に役立てた。

なお、嗜好調査集計表(表1)、お茶の会一覧表(表2)は運営状況の参考資料として添付した。

令和2年 5月 嗜好調査 結果 49名(アゼリア6名)

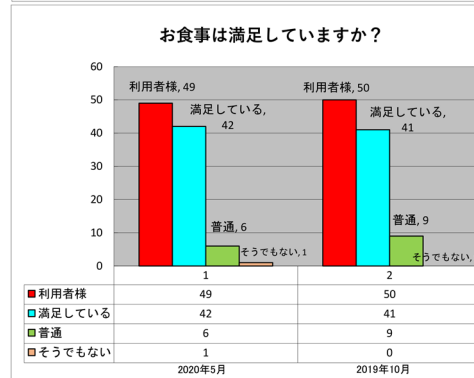
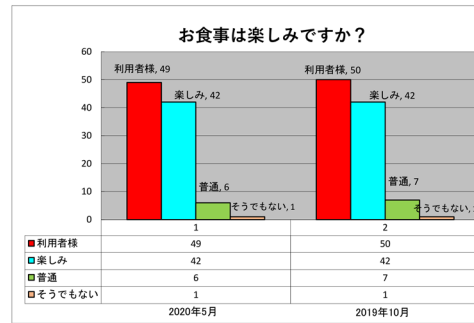
表1-1

|                 |     |     |      |     |        |    |
|-----------------|-----|-----|------|-----|--------|----|
| ☆ お食事は楽しみですか？   | 楽しみ | 42名 | 普通   | 6名  | そうでもない | 1名 |
| ☆ お食事は満足していますか？ | 満足  | 42名 | 普通   | 6名  | そうでもない | 1名 |
| ☆ 汁物、スープの味はどうか？ | 濃い  | 2名  | 丁度いい | 44名 | 薄い     | 3名 |
| ☆ ご飯の硬さはどうか？    | 硬い  | 3名  | 丁度いい | 43名 | やわらかい  | 3名 |
| ☆ 全体の量はどうか？     | 多い  | 6名  | 丁度いい | 39名 | 少ない    | 4名 |

過去の利用者満足度

|           |                     |     |     |
|-----------|---------------------|-----|-----|
| 2019年 10月 | 利用者様50名<br>(アゼリア7名) | 41名 | 82% |
| 2019年 5月  | 利用者様51名<br>(アゼリア6名) | 44名 | 86% |
| 2018年 10月 | 利用者様44名中            | 38名 | 86% |

2020年5月 嗜好調査 結果 表1-2



2020年5月 嗜好調査 ご意見・ご要望 表1-3

|    |                               |
|----|-------------------------------|
| 1  | シーフードステーキが嫌い                  |
| 2  | お茶の会でおせんべい・クラッカーが食べたい         |
| 3  | かた焼きそば・ミックスサンドが食べたい           |
| 4  | ケーキが出ると嬉しい                    |
| 5  | マーガリンが入ったロールパンが食べたい           |
| 6  | 料理が好きなので切り方、盛付け、味付けなど参考にしている  |
| 7  | タピオカが楽しかった。サンドウィッチパイキングをしてほしい |
| 8  | 満足しています                       |
| 9  | 食事の音楽はクラシックなど静かな曲がよい          |
| 10 | バターロールを温めてほしい                 |
| 11 | 焼き鳥が食べたい                      |

2020年 5月 嗜好調査 好きな献立メニュー 表1-4

|            |    |
|------------|----|
| カレーライス     | 4名 |
| ハンバーグ      | 4名 |
| ラーメン       | 3名 |
| パン類        | 3名 |
| エビチリ       | 2名 |
| 冷やし中華      | 2名 |
| 煮物         | 2名 |
| 肉料理        | 2名 |
| かつ丼        | 2名 |
| 甘いケーキ      | 2名 |
| 目玉焼きハンバーグ  | 2名 |
| チャーハン      | 2名 |
| から揚げ       | 2名 |
| お好み焼き      | 1名 |
| 中華料理       | 1名 |
| 天丼         | 1名 |
| 小松菜チャーハン   | 1名 |
| ピザ         | 1名 |
| オムレツ       | 1名 |
| いくら        | 1名 |
| カツサンド      | 1名 |
| ステーキ       | 1名 |
| 野菜の天ぷら     | 1名 |
| 寿司         | 1名 |
| そば         | 1名 |
| 果物         | 1名 |
| うどん        | 1名 |
| エビフライ      | 1名 |
| グラタン       | 1名 |
| 豚豚         | 1名 |
| なんでも       | 1名 |
| ジャージャー麺    | 1名 |
| タンタンメン     | 1名 |
| 塩ラーメン      | 1名 |
| 全部         | 1名 |
| あんみつ       | 1名 |
| 焼きそば       | 1名 |
| すき焼き       | 1名 |
| キクラゲと卵の炒め物 | 1名 |
| おでん        | 1名 |
| 食パン        | 1名 |
| 煮物         | 1名 |
| かぼちゃの煮物    | 1名 |

令和2年 嗜好調査 結果 49名(アゼリア7名)  
10月

2020年 5月 嗜好調査 好きな飲み物 表1-5

|            |     |
|------------|-----|
| コーヒー       | 17名 |
| のむヨーグルト    | 5名  |
| 紅茶         | 4名  |
| オレンジジュース   | 4名  |
| 野菜ジュース     | 3名  |
| ミルクティー     | 3名  |
| ココア        | 3名  |
| アイスコーヒー    | 2名  |
| レモンティー     | 2名  |
| お茶         | 2名  |
| ジンジャーエール   | 2名  |
| 牛乳         | 2名  |
| 特になし       | 2名  |
| サイダー       | 2名  |
| コーラ        | 2名  |
| 水          | 1名  |
| 甘いもの       | 1名  |
| アイスチョコ     | 1名  |
| 豚汁         | 1名  |
| スープ類       | 1名  |
| 果汁100%ジュース | 1名  |
| スーパードライ    | 1名  |
| バナナジュース    | 1名  |
| ミルクセーキ     | 1名  |
| ポタージュ      | 1名  |
| ジュース       | 1名  |
| レモン水       | 1名  |
| シークワーサーサワー | 1名  |
| カフェオレ      | 1名  |

表1-6

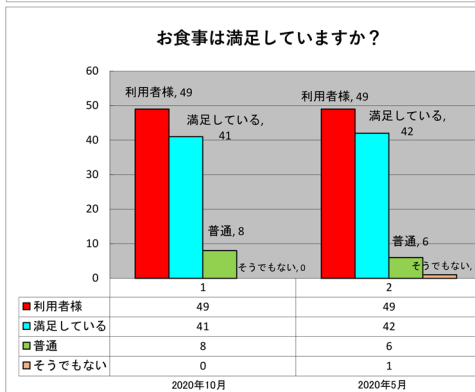
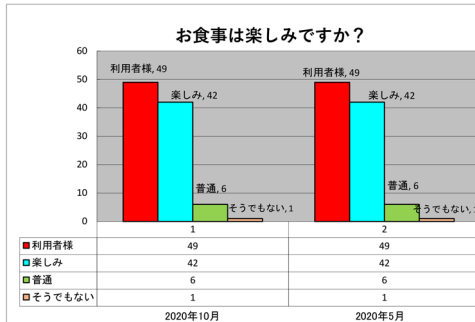
|                 |         |          |           |
|-----------------|---------|----------|-----------|
| ☆ お食事は楽しみですか？   | 楽しみ 42名 | 普通 6名    | そうでもない 1名 |
| ☆ お食事は満足していますか？ | 満足 41名  | 普通 8名    | そうでもない 0名 |
| ☆ 汁物、スープの味はどうか？ | 濃い 4名   | 丁度いい 43名 | 薄い 2名     |
| ☆ ご飯の硬さはどうか？    | 硬い 1名   | 丁度いい 45名 | やわらかい 3名  |
| ☆ 全体の量はどうか？     | 多い 6名   | 丁度いい 36名 | 少ない 7名    |

調査別利用者満足度

|           |                     |     |   |     |
|-----------|---------------------|-----|---|-----|
| 2020年 10月 | 利用者様49名<br>(アゼリア7名) | 41名 | ↓ | 83% |
| 2020年 5月  | 利用者様49名<br>(アゼリア6名) | 42名 | ↑ | 85% |
| 2019年 10月 | 利用者様50名<br>(アゼリア7名) | 41名 | ↓ | 82% |
| 2019年 5月  | 利用者様51名<br>(アゼリア6名) | 44名 | — | 86% |

2020年10月 嗜好調査 結果 表1-7

表1-8



2020年 10月 嗜好調査 ご意見・ご要望

- 1 パンの日にトーストの回数を増やしてほしい
- 2 種類は常食で食べたい
- 3 カレーを多く出して欲しい
- 4 ウインナー、竹輪、練り物が食べたい
- 5 主食の量を増やしてほしい
- 6 温かいごはんにイクラをのせて食べたい・全体の量を増やしたい
- 7 ナンとか食べたい
- 8 野菜のカットを小さくしてほしい・食パン4つ切りにしてほしい
- 9 おまんじゅうをデザートで食べたい
- 10 辛くしてほしい
- 11 ヨーグルト、ゼリーの回数を減らさないでほしい
- 12 京都が好き
- 13 ミルクココアが飲みたい
- 14 ごぼうのきんぴらが食べたい
- 15 曙光園で鶏肉が食べれるようになった
- 16 朝は、ご飯とパンの選択がよい
- 17 しじみの汁が飲みたい・肉がかたい
- 18 揚げ物がかたい時がある
- 19 テーブルのお茶の量をもう少し多くしてほしい



表1-9a

| 2020年10月 今後してほしい行事食 |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1                   | サンドイッチ                  |
| 2                   | 唐揚げ                     |
| 3                   | 中華ラーメン、餃子セット            |
| 4                   | カレー                     |
| 5                   | ラーメン                    |
| 6                   | サラダバイキング                |
| 7                   | 焼肉                      |
| 8                   | なまこ・うに・ほや・貝類            |
| 9                   | ジャンバラヤ (チキンにのせケチャップライス) |
| 10                  | かぼちゃの物                  |
| 11                  | そばのセット                  |
| 12                  | 焼肉                      |
| 13                  | タピオカ・お好み焼き              |
| 14                  | 西本願寺                    |

表1-9b

| 2020年10月 今後してほしい行事食 |                     |
|---------------------|---------------------|
| 15                  | さんま                 |
| 16                  | バイキング               |
| 17                  | サンドイッチ              |
| 18                  | 七夕誕生日               |
| 19                  | 寿司・パン・ケーキバイキング      |
| 20                  | 中華                  |
| 21                  | バターチキンカレー           |
| 22                  | 豚カツ                 |
| 23                  | 肉が入ったチャーハンを何種類か食べたい |
| 24                  | うな重                 |
| 25                  | 酢豚・青椒肉絲             |
| 26                  | 可愛い飾り物があると楽しい       |
| 27                  | 肉類                  |
| 28                  | サンドイッチバイキング         |

表1-10a

2020年10月 嗜好調査 お茶の会リクエストメニュー

|    |              |
|----|--------------|
| 1  | 洋菓子          |
| 2  | ハムフライ        |
| 3  | 小麦粉系の料理・すいとん |
| 4  | みたらし団子       |
| 5  | つまみになるお菓子    |
| 6  | ジュース         |
| 7  | チョコバナナ       |
| 8  | おせんべい        |
| 9  | あずき          |
| 10 | ケーキ          |
| 11 | 大福           |
| 12 | クッキー         |
| 13 | 中華・洋食        |
| 14 | スコッチエッグ      |
| 15 | あんこ・和菓子      |
| 16 | ごまだんご        |
| 17 | プリン          |
| 18 | かぼちゃの物       |

表1-10b

2020年10月 嗜好調査 お茶の会リクエストメニュー

|    |                 |
|----|-----------------|
| 19 | ココア             |
| 20 | そうめん・サンドイッチ     |
| 21 | すし              |
| 22 | ビスケットカスタードクリーム  |
| 23 | 和菓子             |
| 24 | 甘いパン            |
| 25 | シュークリーム         |
| 26 | コーヒー            |
| 27 | ドーナツ・ミルクコーヒー    |
| 28 | レアチーズケーキ        |
| 29 | チーズケーキ          |
| 30 | スムージー・クロックムッシュ  |
| 31 | 中華系、飲茶          |
| 32 | チョコケーキ          |
| 33 | たい焼き            |
| 34 | ビーフシチュー         |
| 35 | 甘いもの            |
| 36 | お菓子             |
| 37 | ショートケーキ・シュークリーム |

## 6. 事務部

### はじめに

これまで長年に渡り一法人、一施設であった流れのまま、本部業務と、施設事務業務の線引きが曖昧であったが、事業所が増え、今後の事業拡大に向け、昨年度より本部が独立したことに伴い、本年度からは、常に本部との任務分掌及び連携を意識し、曙光園内の利用者サービス及び職員へのきめ細やかな配慮を中心に焦点を当て、日々の業務を心掛けた。

### 経理業務

社会福祉法人 全国スモンの会 経理規程を遵守し、小口現金の日々の管理及び利用者預り金出納等の業務について、帳票類の作成も含め、日々遅滞なく正確に行う。また各種請求業務についても確認及び入力作業等を遅滞なく行い、法改正等情報収集も怠らず最大限の収入を確保した。新型コロナウイルス感染症対策に関する、各種助成金等についても、積極的に情報収集し、活用した。

### 庶務業務

電話及び来客対応、利用者対応について、施設の窓口であるので常におもてなしの心を持って迅速丁寧に接するよう心掛けた。また郵便物やメール、ファックスについて、その收受の記録を付け、発送についても正確に処理をした。

利用者の日用品及び業務に必要な備品については日常生活や業務が滞らないよう、常時在庫確認の上、保管した。また非常時、特に新型コロナウイルスが万が一施設内で発生した場合にも対応できる分量を確保、保管した。

伝票処理はその種別に応じ、押印等、漏れが無いよう確認の上、適切に保管した。データ入力も都度、他部署との連携及び情報共有のため、速やかに正確に行った。

書類および資料の作成については、依頼を受けたものについて、期限を守り作成し、必要があれば保管した。

外出用件がある場合は、安全を図りつつ、最短時間で戻れるよう効率を考え、できるだけ事務所が不在とならないよう行動した。

コロナウィルス感染予防のため、ご家族との面会が難しい中、お電話等でできるだけお話しして頂けるよう、気を配った。

## **総務業務**

職員の福利厚生制度の案内や加入脱退手続き、及び健康管理について、スケジュール管理と各種申請手続き業務を速やかに行い、また施設の老朽化に伴う各所の営繕も行った。職員にとっては働きやすい職場環境、利用者にとっては安心して生活できる環境の整備に努めた。また法人本部業務の補助的役割を果たし、常にサポート出来る体制を取った。

## 7. 防火・防災対策

2020年度は、防火・防災活動として、自衛消防訓練を毎月実施した。火災発生時・震災発生時を想定した昼間体制訓練・夜間体制訓練を定期的を実施するとともに、6月に消防設備学習訓練、7月には防犯用具「さすまた」を活用した防犯訓練、3月には夜勤者を対象に東京消防庁の提供する「小規模社会福祉施設等の自衛消防活動要領」e-ラーニングを実施した。

社会福祉法人に期待されている「地域における公益的な取り組み」の一環として、消防署立ち会いのもと10月に実施予定であった総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染症の影響により消防署の立ち会い、および近隣住民の皆様への案内がともに困難となったため、拡大版の自衛消防訓練としてグループホームアゼリアと連携して実施した。例年、総合防災訓練に参加いただいた近隣住民の皆様には、食品ロス対策プロジェクトに取り組む中央ライフ・サポートセンター（群馬県前橋市）より提供された食品（消費期限が十分な期間残っていないという理由で流通消費できないもの）を無償配布し、食品ロスについて共に考える機会を提供していたが、今年度の無償配布は訓練に参加した職員等へ限定した。

近隣地域との連携として、近隣の障害者・高齢者等の受け入れの可能性に備えて、防災食料等の備蓄を行っている。また、大規模震災時に、備蓄用品の適切な使用及び、搬出作業が実行できるように、収納場所の確認を行うとともに、使用方法についても、自衛消防訓練にて周知している。

当法人は2020年度に事業継続計画（BCP）の改訂を行い、また「福祉避難所」の指定を小平市より受けることができた。新型コロナウイルス感染症の影響が今後どのように収束に向かうかは未知数であるが、今後も地域の防災拠点として、より一層近隣地域との連携を強めていきたい。

※2020年度 自衛消防訓練実施実績

| 自衛消防訓練<br>実施年月日 | 訓練形式                | 訓練想定 | 参加者 |     | 合 計         |
|-----------------|---------------------|------|-----|-----|-------------|
|                 |                     |      | 職員  | 利用者 |             |
| 2020年4月15日      | 通報・消火・避難訓練          | 昼間想定 | 6   | 43  | 49          |
| 2020年5月20日      | 防犯訓練（テロ等対策）         | 昼間想定 | 6   | 43  | 48          |
| 2020年6月17日      | 消防設備学習訓練            | -    | 6   | -   | 6           |
| 2020年7月15日      | 震災対応・避難訓練           | 夜間想定 | 4   | 43  | 47          |
| 2020年8月19日      | 通報・消火・避難訓練          | 昼間想定 | 6   | 42  | 48          |
| 2020年9月16日      | 震災対応・避難訓練           | 昼間想定 | 6   | 42  | 48          |
| 2020年10月24日     | 総合防災訓練              | 昼間想定 | 10  | 53  | 63 ※外部から参加者 |
| 2020年11月18日     | 震災対応・避難訓練           | 夜間想定 | 4   | 41  | 45          |
| 2020年12月26日     | 通報・消火・避難訓練          | 昼間想定 | 7   | 41  | 48          |
| 2021年1月20日      | 感染症対策設備点検           | -    | 9   | -   | 9           |
| 2021年2月17日      | 震災対応・避難訓練           | 夜間想定 | 4   | 41  | 44          |
| 2021年3月1日～31日   | 小規模社会福祉施設等の自衛消防活動要領 | 夜間想定 | 12  | -   | 12          |
| 累 計             |                     |      | 80  | 389 | 469         |

## 曙光園 特定相談支援事業所

### 1. 曙光園 特定相談支援事業所

2020 年は、コロナウイルスの影響により、これまでのやり方を大きく変えた 1 年であった。

また、曙光園に限らず、特定相談支援事業所の在り方が見直される一年であった。事業報告の場で、前年度も述べた曙光園特定相談支援事業所の「付加価値」について振り返りたい。

#### 定期モニタリング

今年度は、曙光園とアゼリアをご利用されている方以外については、電話と書面によるモニタリングを実施した。

曙光園特定相談支援事業所のご利用者の多くは、施設入所や療養介護サービスを利用しており、医療的ケアの比重が高い。そのためご本人との面会が一切できない中でモニタリングを行わなければならなかった。

そうした方々の多くは、会話によるコミュニケーションが困難なため、ご本人からの聞き取りはできない。それでも、面談によるモニタリングでは、ご家族と支援者の方々からお話しを伺いながら、ご本人の表情や体の動き等を目でみて確認し、相談員として感じたことを記録に残していた。しかし、それが叶わない状況は「モニタリング」としては不完全ではないか？と苦慮した。

管理者と検討を重ねた結果、障害サービスの更新時およびご家族とサービス提供事業者よりご希望があった場合を除き、現在まで無期延期という形を取らせていただいている。

経過は、R1 年の 1 月に入ってからモニタリング予定者お一人お一人の関係者へ電話でご意向の確認、4 月末にはこの状況が長期化すると判断、5 月上旬には各ご家族と事業所担当者へ無期延期のお知らせを郵送した。

これにより今現在混乱や苦情は全くなく、関係者の皆さまには計画更新時の書面や電話によるモニタリングにも心よくご対応いただいている。

#### 【2020 年度まとめ】

モニタリング予定件数 158 件（内：実施件数 125 件 延期（未実施）38 件）

## 記録の充実

電話と書面によるモニタリングを実施する中で、記録の大切さについて改めて実感することが何度となくあった。

昨年度は、「記録を読み返すことで、その時の本人や関係者の様子を思い起こすことができ、詳細な記録がより良い対人援助技術に繋がることを実感した。」と述べたが、今年度も引き続きそうした効果を感じている。

しかし、それ以上の効果として、計画案やモニタリングだけでなく、一つ一つの記録を読み返すことで、課題をより明確にし、効率の良い聞き取りを行うことができたことをあげたい。そして、効率よく聞き取りすることは、文書作成の効率を上げる効果もあったことも付け加えたい。

今年度は、面談ではなく電話によるやり取りが殆どであったため、情報量が激減したのは致し方ないことではあった。それでも、電話の向こうにいる相手思い浮かべ、どんなに小さなやり取りでも記録に残し続けることの積み重ねが、今後の支援に生かされることは間違いない。

## 増員

「学んでもらうことは共に学ぶこと」そうした姿勢を大切に、今年度も取り組んできた結果、その成果として一番に挙げたいのは、どの関係者も困難と予想していた事例を20代支援員が解決したことである。

夜勤中心の業務にあたりながらも、相談業務に力を注ぎ、そうした大きな仕事を成し遂げた彼の努力を称賛したい。

日頃から、そうした若い職員のモチベーションを目の当たりにし、指導よりも、「共に学ぶ」姿勢へ自ずと傾いていった結果、お互いにモチベーションが上がり、良い仕事のできたのではないかと振り返る。

計画相談支援とは、「サービス利用計画案」といった、課題を分かりやすく書面化することが業務の前面にでてくるが、それよりも、より良いサービス調整を行うことが最大の任務であり、これが一番難しい業務でもあるといえる。

障害サービスの分野では、まだまだサービスを選べるだけ事業所が充実している訳ではないため、色々あるものから好きな物を選んで組み合わせるというよりは、どうにかして空いた穴を塞ぐイメージであり、常に探し続ける仕事は、決して楽ではない。しかし、厳しい道を歩み続けながらも、大きな目標を利用者と共に達成した時の喜びは何事にも変えられない。

今後も「共に学ぶ姿勢」を継続することで、計画相談支援業務に魅力を感じ、関心を持ってもらえることで、結果として増員に繋がることを期待している。

# グループホーム アゼリア

## 1. はじめに

社会福祉法人 全国スモンの会  
グループホーム アゼリア  
施設長 鎌田亮一

2020年度は、年度当初より新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令され、入居者、職員ともに自粛生活を余儀なくされたが、その中でも「今だから出来ること」を考え、前向きに捉えることにより、このような時世だからこそ出来る経験を積むことで得られたものもあり、例年とは異なる取り組みも行なってきた。

併設している短期入所事業では、新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言発令中は利用制限を行なってきたが、情勢を見ながら新期利用者の相談も継続し、緊急ケース等、出来る限りニーズに対応出来るよう受け入れを行なってきた。

### 健康と安全

新型コロナウイルス感染症への対応として、通年、手洗い、うがい、マスクの着用、定期検温の実施、必要時には通所を自粛するなど入居者の生命を守ることを最優先とし、対策を行なってきた。

定期通院や往診については状況に応じて電話診療や ICT 機器を用いたリモート対応を行なってきた。大きく体調を崩す入居者もなく過ごすことができた。

訪問によるリハビリは感染症防止対策の観点から制限してきたが、職員がホーム内で出来る限りの対応を行い、身体機能の低下が無いよう取り組みを行なった。

### 自分にあった暮らしの実現

通年、新型コロナウイルスの感染者が収束することなく経過し、制限がある生活となり、地域移行については積極的に取り組むことができなかったが、外出行動以外でもリハビリ等、ホーム内で取り組める事をサポートしてきた。

行事活動については年間で予定していた外出行事はほぼ中止となったが、新型コロナウイルス感染に配慮しホーム内や近隣外出で行える行事に変更し取り組んだ。

公共交通機関を利用して通所される入居者に対しては、リモートワークや必



要時には感染防止の観点から公共交通機関を利用せずホーム職員による送迎を行い、積極的に一般就労に向けて取り組んでいる入居者のフォローも行なってきた。

制限のある中、外出機会も減り、例年とは異なる生活となったが、ICT 機器を取り入れた試みや感染症に対する取り組みを行うことで、入居者、職員ともに認識の向上を図る事ができた。

| 年間行事   |                         |
|--------|-------------------------|
| 2020   |                         |
| 4月26日  | 懐かしいお菓子を食べながら思い出を語ろう    |
| 5月24日  | ポッチャをしながら楽しく体を動かそう      |
| 6月28日  | みんなで一緒にクレープを作ろう         |
| 7月11日  | みんなでケンタッキーのチキンを食べよう     |
| 8月31日  | 納涼祭（曙光園納涼祭参加）           |
| 9月26日  | みんなでお好み焼きを作ろう           |
| 10月24日 | 手芸を楽しもう（写真立て、マスクケース作り）  |
| 11月29日 | ポッチャをしながら体を動かそう         |
| 12月22日 | 「年末お楽しみ会」（曙光園年末お楽しみ会参加） |
| 2021   |                         |
| 1月2日   | 正月行事（曙光園正月行事へ参加）        |
| 1月31日  | チョコレートフォンデュを作ろう         |
| 2月21日  | カップケーキを作ろう              |
| 3月28日  | お花見ドライブ（多摩湖～狭山湖周辺）      |

### 安定した運営の維持、サービス向上

新型コロナウイルスの影響でさまざまな研修が中止となり、外部研修の機会は減ったが、感染症対策に対する社内での研修、周知によって職員の意識向上を図ると共に、備品、設備環境を整えてきた。

また、定期的に感染対策に対しての会議を開催し、利用者の生命を守ることを最優先として、安全な生活の場を提供することに努めてきた。

制限の多い生活の中、利用者、そのご家族には不便をお掛けする場面も多くあったが、「生命を守ること」を最優先とすることをご理解いただき、運営を行なってきた。

### 短期入所事業

前年に引き続き、身体障害に加え精神障害、知的障害の方についても受け入れ対象とし周知してきた。緊急事態宣言発令中や新型コロナウイルスの感染者発生状況に応じて入所制限を行い感染防止に努めてきた。制限がある中での受け入れ体制であったが、緊急の受け入れ相談や定期利用の利用者の希望を伺い、

感染対策を行い、出来る限り対応していけるように努めた。

利用率については、入所制限を行い、受け入れを大幅に制限している期間があったが60%程で前年度とほぼ同じ利用率となっている。

## 2020年度 短期入所利用状況

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 利用者数 | 4名 | 1名 | 2名 | 7名 | 9名 | 10名 | 11名 | 12名 | 11名 | 2名 | 2名 | 2名 |
| 利用日数 | 47 | 31 | 42 | 71 | 91 | 104 | 98  | 107 | 93  | 56 | 56 | 62 |

## 2. 防火・防災対策

防火・防災対策として月に1度のペースで自衛消防訓練を実施した。火災発生時、地震発生時、不審者侵入を想定し、夜間体制時、日中体制時、早朝体制時の訓練を実施した。

新型コロナウイルスの感染症の影響で縮小する事となったが、10月には法人内入所施設、曙光園と合同で利用者職員参加で体験などの訓練を実施した。

災害対策として2020年度は法人としてBCPを改訂し大規模災害発生時の対応について見直しを行い、職員配置や行動の確認、必要資源の確認、確保、設備環境の整備を行なった。

| 実施日    | 実施場所             | 訓練想定         | 訓練項目      | 参加対象者       | 訓練内容  |
|--------|------------------|--------------|-----------|-------------|---|
| 4月6日   | 建物全体             | 火災           | 通報<br>その他 | 施設職員        | 建物内、火災報知器通作動システム、スプリンクラー設備など確認・理解する。  |
| 5月26日  | 建物全体             | 火災           | 避難        | 施設職員        | 夜間1階キッチン出火想定。1階、2階利用者の避難誘導経路、設備の確認。   |
| 6月23日  | 建物全体             | 火災<br>地震     | 通報<br>避難  | 施設職員        | 地震後の火災を想定。火災報知器、通報システムの操作確認、避難演習実施。   |
| 7月30日  | 1階キッチン<br>2階キッチン | 火災           | 消火        | 施設職員        | 消火器の取扱い、設置場所確認。火元想定であるキッチンへ建物内の消火器を設置場所の確認しながら火元へ早急に運ぶ。                       |
| 8月25日  | 建物全体             | 地震           | 避難        | 入居者<br>施設職員 | 日中の地震を想定。避難器具の取扱い、設置場所の確認。避難用滑り台を使用し避難を行う。利用者個別の誘導方法の確認。                      |
| 9月29日  | 建物全体             | 火災<br>地震     | 避難        | 施設職員        | 地震、火災を想定し避難経路の確認、避難演習。備蓄食料の配置確認。  |
| 10月25日 | 曙光園<br>(総合防災訓練)  | 火災<br>地震     | 消火<br>避難  | 入居者<br>施設職員 | 曙光園にて、消火設備の説明や消火活動の体験を行う。   |
| 11月24日 | 建物全体             | その他<br>不審者対策 | 避難        | 入居者<br>施設職員 | 1階食堂より不審者の侵入を想定し、通報者と避難者の取るべき行動を確認し、安全対策を検討する。夜間想定として、夜勤者2名における通報、入居者の避難誘導実施。 |
| 12月31日 | 建物全体             | 火災           | 通報<br>避難  | 施設職員        | 2階キッチン出火想定。利用者の避難誘導経路、設備の確認、演習実施。   |
| 1月25日  | 1階食堂             | 火災<br>地震     | 通報<br>避難  | 施設職員        | 夜間想定として、夜勤者2名における通報、入居者の避難誘導実施。   |
| 2月23日  | 建物全体             | 火災<br>地震     | 避難        | 入居者<br>施設職員 | 避難経路を確認し、実際に居室から屋外へできる限り安全に避難する。  |
| 3月30日  | 建物全体             | 地震           | その他       | 施設職員        | 災害時におけるライフラインの確保方法、近隣の避難場所を確認、備蓄食料の配置確認。                                      |